

消防





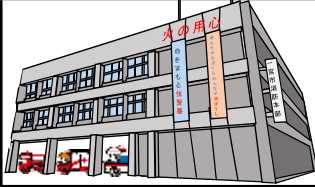

一宮市消防本部イメージキャラクター
「いさはや君」




2022 年報 No.72





Ichinomiya City Fire Department Annual Report

一宮市消防本部

一 目 統 計

			
面積・人口・世帯数	予 算	署 所	消防職員
面積 113.82Km ² 人口 381,366人 世帯数 164,965世帯 令和4年4月1日現在	一般会計予算 122,160,000千円 消防予算 4,104,305千円 令和4年度予算	消防本部 1 消防署 3 分署 1 出張所 8 令和4年4月1日現在	条例定数 405人 現員数 404人 令和4年4月1日現在

		
消防団員	消 防 車 両	119番受信
条例定数 605人 現員数 503人 令和4年4月1日現在	タンク車 16台 ポンプ車 4台 救急車 14台 はしご車 2台 救助工作車 2台 化学車 1台 その他 29台 合計 68台 令和4年4月1日現在	火 災 210件 救 急 15,833件 その他 5,686件 合計 21,729件 令和3年中

			
火 災	出火原因	救 助	救 急
建 物 55件 車 両 10件 その他 16件 合計 81件 令和3年中	1位 放火の疑い 9件 2位 こんろ 7件 3位 たき火 5件 令和3年中	出動件数 236件 活動件数 148件 救助人員 130人 令和3年中	出動件数 17,136件 搬送人員 16,257人 令和3年中

			
音 楽 隊	査 察 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 ク ラ ブ 会 員
隊員数 36人 令和4年4月1日現在 演奏回数 13回 令和3年度中	特定対象物 2,230か所 非特定対象物 2,713か所 令和4年4月1日現在	製造所 3か所 貯蔵所 256か所 取扱所 149か所 令和4年4月1日現在	幼年 8,769人 少年 6,878人 婦人 305人 令和4年4月1日現在

一宮市民憲章

わたしたちのまち一宮市は、木曾の清流と豊かな濃尾平野にはぐくまれ、先人のたゆまぬ努力により、繊維を中心として発展してきました。

わたしたちは、このまちの市民であることに誇りを持ち、互いに手をたずさえて、未来へはばたく「心ふれあう躍動のまち一宮」をつくることをめざし、ここにこの憲章を定めます。

1. **い**のちを大切にし、
だれもが安心して暮らせる 福祉のまちをつくります。
1. **ち**きゅうを愛し、
自然も人も共生できる 住みよいまちをつくります。
1. **の**びやかに青少年が育ち、
個性を生かす 教育と文化のまちをつくります。
1. **み**どり豊かなふるさとを守り、
活力ある産業のまちをつくります。
1. **や**さしさと思いやりに満ち、
夢と希望があふれるまちをつくります。

[平成 19 年 3 月 28 日制定]

はじめに

本市消防本部は、皆様の暖かいご支援とご協力のもと、地域に根ざした防災機関として着実に発展を遂げてまいりました。

本年4月に組織改編を行い、消防本部内に「消防救急課」を創設、その消防救急課内に「本部救急隊」を発隊しました。「本部救急隊」は、市内全域の転院搬送に対して出動することにより、市内全体の救急業務体制のさらなる効率化を目指します。

新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の見通しも不透明な状況ではありますが、本市消防本部及び本市消防団は、活動の制限やイベントの中止・縮小など、様々な制約が課せられる中、知恵と工夫をこらし業務を継続しております。

昨年を振り返りますと、令和3年7月に東海・関東地方を中心とした記録的な大雨により、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生しました。

本市消防本部からも緊急消防援助隊愛知県大隊として、隊員15名を現地に派遣し、人命救助及び被害軽減の任務にあたりました。

本市地域におきましても、年々増加する水害や、近い将来に発生が危惧されている南海トラフ巨大地震など、自然災害のリスクを抱えています。このような状況の中で、火災、救急などの災害に迅速、確実に対応していくことに加えて、市民の皆様が安全、安心して生活できることを目標として、設備、装備の充実化を図り、さらには「地域防災力」の強化に力を尽くしていく所存です。

本書は、令和4年4月1日現在における本市の消防体制及び令和3年中の市内で発生した火災等の実態を取りまとめて収録したものです。

ご高覧を賜り、本市消防行政の飛躍に向け、市民の皆様の一層のご理解を深めていただくための一助としていただければ幸いに存じます。

令和4年7月

一宮市消防本部

○2022年度 全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心



○令和4・5年度 一宮市防火標語

消したっけ たぶんじゃダメだよ 火の始末



○一宮市住宅用火災警報器の設置促進標語

あっ！！火事だ！！

「にげろ」のめざまし じゅうけいき



目 次

I 総 括

市の概要	1
一宮市の人口・世帯数	2
消防機関の配置	3
消防のあゆみ	4
消防の主な行事	7
消防情勢の推移	8
消防本部・消防署の組織	10
消防本部・消防署の事務分掌	11
消防団の組織	12
消防本部・消防署の庁舎現況	13
消防団の庁舎現況	14
消防本部・消防署車両の現勢	16
消防団車両の現勢	19
消防音楽隊のあゆみ	20
消防音楽隊の編成	23
消防音楽隊の活動状況	23

II 総 務

当初予算の推移	24
決算額と構成の推移	24
消防職員の配置	25
消防職員の年齢	27
消防職員の勤続年数	27
消防職員資格等保有状況	28
消防職員教育研修状況	29
災害防止	30
安全管理	30
消防協力者表彰	30
施設・装備充実事業	31

III 通 信 ・ 気 象

指令システム構成図	32
無線設備	33
指令回線等一覧表	34
月別119番受信状況	35

携帯電話からの月別119番受信状況	36
月別気象状況	37
一宮市の警報・注意報発表基準	37

IV 消防団

消防団の現況	38
消防団及び消防団員の状況	38
消防団の活動状況	38
団員報酬額	39
費用弁償	39
消防団員の退職状況	39
消防団員の新任状況	39
消防団員の職業構成と就業形態	39
消防団員の年齢	40
消防団員の勤続年数	41

V 予防

火災予防普及活動状況	42
幼年・少年・婦人消防クラブの現況	42
街頭消火器設置状況	43
街頭消火器火災使用状況	44
査察対象物数	45
中高層建築物数	46
各種届出件数	47
用途別同意建築物数	48
危険物施設数	49
指定数量の倍数・類別危険物施設数	50
危険物施設の設置・変更許可等	51
タンク検査状況	51
危険物施設届出等状況	51

VI 火災

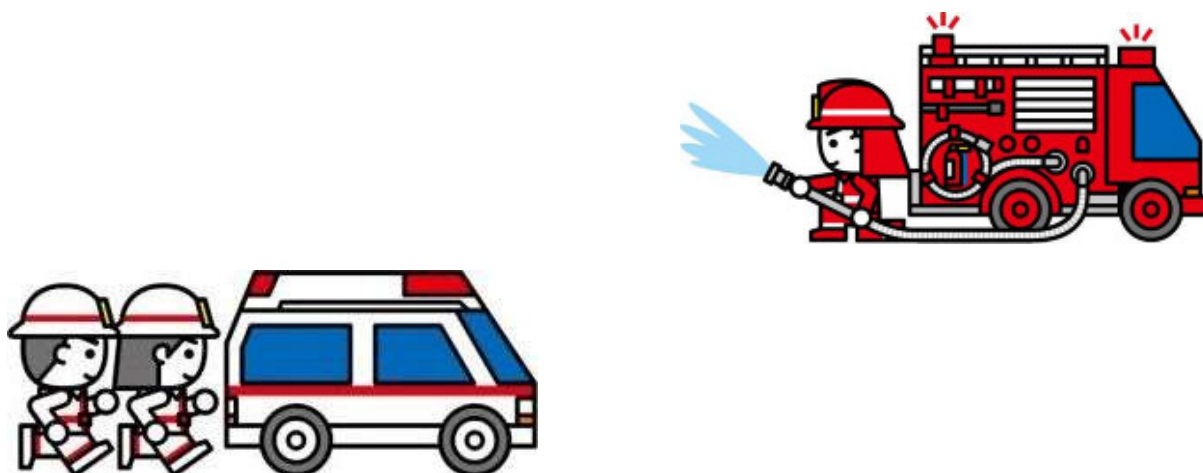
火災の概況	52
出火原因	53
建物用途別・原因別件数	54
連区・月別の火災件数	55
過去10年間の火災発生件数	57
高速道路の火災	58

VII 警 防

消 防 車 両 の 配 置 状 況	59
災 害 種 別 の 出 動 状 況	60
月 別 庁 外 業 務 活 動 状 況	61
消 防 活 動 用 資 器 材 の 配 置	62
消 防 水 利 の 現 況	64
応 援 協 力 計 画	65
緊 急 消 防 援 助 隊	66

VIII 救 急 ・ 救 助

過 去 10 年 間 の 救 急 活 動 状 況	68
曜 日 ・ 月 別 救 急 出 動 件 数	69
曜 日 ・ 月 別 救 急 搬 送 人 員	70
地 区 別 救 急 出 動 件 数	71
地 区 別 救 急 搬 送 人 員	71
現 場 到 着 所 要 時 間 別 救 急 出 動 件 数	72
収 容 所 要 時 間 別 救 急 搬 送 人 員	72
年 齢 区 分 ・ 傷 病 程 度 別 救 急 搬 送 人 員	73
救 急 高 度 化 の 推 移	74
救 急 隊 員 の 行 っ た 応 急 処 置 等 件 数	75
高 速 道 路 の 救 急 活 動 状 況	77
応 急 手 当 等 の 普 及 活 動 状 況	78
救 助 活 動 状 況	79
月 別 救 助 出 動 状 況	80
救 助 訓 練 等 実 施 状 況	81



総括



市の概要

一宮市は、広大な濃尾平野のほぼ中央に位置し、温和な気候、風土に恵まれ、早くから発展してきました。

大正10年9月1日に市制を施行、昭和15年に葉栗村、西成村と合併して市域を拡大し、近代都市としての形態を整えるに至りました。

そして、昭和30年1月に丹陽村と浅井町、4月に北方村、大和町、今伊勢町、奥町、萩原町、千秋村とそれぞれ合併し、さらに平成17年4月に尾西市、木曾川町と合併し現在の113.82 km²の都市が実現しました。

令和4年4月1日現在、人口381,366人、世帯数164,965世帯となり、市北部から西部へと約18キロメートルにわたって接する木曾川がはぐくんだ豊かな自然や、これまで蓄積された歴史・文化を礎に、安心・元気・協働の基本理念のもと、「木曾の清流に映え、心ふれあう躍動都市 一宮」を将来像としたまちづくりを目指し躍進を続けています。

愛知県



一宮市



■位置：北緯35度18分、東経136度48分

■面積：113.82 km²

東西15.3 km、南北13.3 km

■人口：381,366人

男186,247人 女195,119人

■世帯数：164,965世帯

■人口密度：3,351人/km²

(令和4年4月1日現在)

■Location : Lat. 35° 18' N&Long. 136° 48' E

■Area : 113.82 km²

East-West : 15.3 km、North-South : 13.3 km

■Population : 381,366 people ;

Male: 186,247 people, Female: 195,119 people

■Number of households : 164,965 households

■Population density : 3,351 people/km²

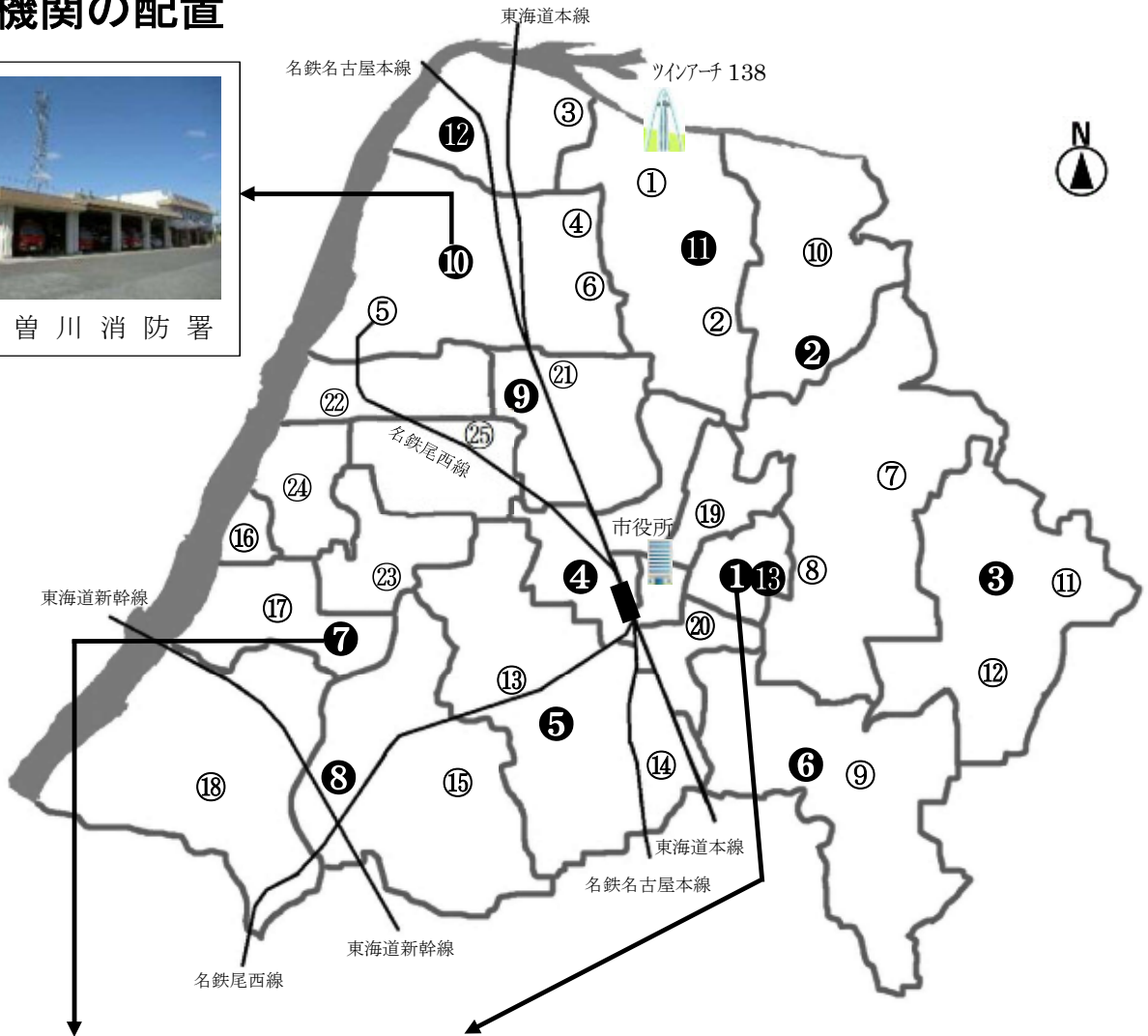
(As of April. 1. 2022)

一宮市の人口・世帯数

令和4年4月1日現在

区 分	世 帯 数	人 口		
		総 数	男	女
合 計	164,965	381,366	186,247	195,119
宮 西	5,178	11,600	5,558	6,042
貴 船	5,231	11,502	5,507	5,995
神 山	7,249	15,556	7,555	8,001
大 志	2,400	4,973	2,361	2,612
向 山	4,106	9,135	4,458	4,677
富 士	4,345	9,481	4,588	4,893
葉 栗	6,805	16,396	8,001	8,395
西 成	14,578	34,559	16,927	17,632
丹 陽 町	12,834	28,655	14,434	14,221
浅 井 町	8,303	19,399	9,400	9,999
北 方 町	3,866	9,341	4,577	4,764
大 和 町	18,709	42,354	20,805	21,549
今 伊 勢 町	11,621	26,422	12,883	13,539
奥 町	5,862	14,253	6,897	7,356
萩 原 町	7,707	18,062	8,729	9,333
千 秋 町	6,919	17,200	8,400	8,800
起	1,415	3,216	1,573	1,643
小 信 中 島	4,378	10,750	5,260	5,490
三 条	5,761	13,376	6,455	6,921
大 徳	4,427	10,248	5,036	5,212
朝 日	5,237	12,339	6,035	6,304
開 明	3,610	8,421	4,089	4,332
木 曾 川 町	14,424	34,128	16,719	17,409

消防機関の配置



※詳しくはこちらをご覧ください

一宮市公式ウェブサイト内
地図情報サイト「138 マップ」

<https://www.sonicweb-asp.jp/ichinomiya>



【施設・地域情報】



【消防施設】

消防本部・消防署・出張所・倉庫	
① 消防本部	⑦ 尾西消防署
② 浅井・西成消防出張所	⑧ 萩原消防出張所
③ 千秋消防出張所	⑨ 今伊勢・奥消防出張所
④ 八幡消防分署	⑩ 木曾川消防署
⑤ 大和消防出張所	⑪ 葉栗消防出張所
⑥ 丹陽消防出張所	⑫ 北方消防出張所
	⑬ 緑消防倉庫

分団庁舎			
北部 方面隊	東部 方面隊	南部 方面隊	西部 方面隊
① 葉栗北	⑦ 西成北	⑬ 大和西	⑲ 真清北
② 葉栗南	⑧ 西成南	⑭ 大和東	⑳ 真清南
③ 北方	⑨ 丹陽	⑮ 萩原	㉑ 今伊勢
④ 木曾川北	⑩ 浅井	⑯ 起	㉒ 奥
⑤ 木曾川西	⑪ 千秋北	⑰ 大徳	㉓ 三条
⑥ 木曾川東	⑫ 千秋南	⑱ 朝日	㉔ 小信中島
			㉕ 開明

消防のあゆみ

(一) : 旧一宮市消防本部

(尾) : 旧尾西市消防本部

(木) : 旧木曾川町消防本部

昭和23年 3月(一)	消防組織法施行により一宮市消防本部を創設し、従来の常備消防部を消防署に昇格
昭和23年 3月(木)	消防組織法施行により警察機関から分離した消防団発足
昭和25年11月(一)	消防庁舎(旧庁舎)が新柳通1の29地内(現本町1丁目)に完成
昭和25年12月(一)	市を縦断する東海道線の西部地区警備体制強化のため、八幡出張所を開所
昭和30年 1月(尾)	中島郡起町と朝日村が合併し市制を施行、尾西市が誕生と同時に尾西市消防団を設置、1団制6分団、消防ポンプ自動車6台、団員195名で発足
昭和30年 4月(尾)	尾西市に中島郡今伊勢町開明地区を編入、境界変更に伴い消防団を再編、1団制7分団、消防ポンプ自動車7台、団員227名で再発足
昭和33年 9月(一)	消防署に救護隊を新設し救急業務を開始
昭和33年10月(尾)	市総務課に中短波無線電話を設置
昭和35年 4月(一)	奥出張所を奥町字下口西地内に開所
昭和35年 9月(尾)	市総務課に職員7名をもって常備消防体制が発足
昭和35年10月(尾)	尾西市消防本部設置条例を制定
昭和35年12月(一)	萩原出張所を萩原町萩原地内に開所
昭和36年 9月(一)	浅井出張所を浅井町東浅井地内に開所 東部出張所を千秋町佐野地内に開所 なお敷地内に整備工場を併設し、業務を開始
昭和37年 4月(尾)	消防本部職務規則を制定し救急業務開始
昭和37年 9月(一)	南部出張所を丹陽町猿海道地内、北部出張所を大字更屋敷地内に開所
昭和39年 3月(尾)	昭和35年制定の消防本部設置条例を廃止し、新たに消防本部・署設置条例を制定
昭和39年 9月(尾)	昭和37年制定の消防本部職務規則を廃止し、新たに消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を制定
昭和40年 6月(尾)	消防庁舎が東五城地内に完成(旧庁舎)
昭和43年 4月(一)	消防庁舎(本部・本署)が花祇通6丁目(現庁舎)に完成
昭和43年 4月(木)	政令指定により消防本部(署)発足・消防庁舎(旧庁舎)完成
昭和45年 2月(木)	救急車(兼広報車)を購入し救急業務開始
昭和53年 5月(木)	消防庁舎が黒田地内に完成(現木曾川署)
昭和55年 1月(一)	大和出張所を大和町苅安賀地内に開所
昭和57年 1月(一)	西成出張所を大字西大海道地内に開所

昭和57年 6月(尾)	消防本部組織及び職務規則並びに消防署職務規程を改正し、消防本部は庶務係、消防係、予防係の3係、消防署は警備第1・2係、通信第1・2係、整備係の5係
昭和61年 1月(一)	今伊勢消防出張所を今伊勢町馬寄地内に開所 出張所の名称が変更され、南部出張所が丹陽出張所に、東部出張所が千秋出張所になり、出張所の名称を「消防出張所」と改称
昭和62年 3月(一)	葉栗消防出張所を大字大毛地内に救急業務を主体として開所
昭和63年 1月(一)	消防署八幡消防分署に部隊を増強、東西の出動体制を確立
昭和63年12月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則・規程を新たに制定
平成元年10月(一)	大和消防出張所に救急隊を配置
平成元年11月(尾)	消防庁舎が西五城地内に完成(現尾西署)消防緊急通信指令施設(I型)及び消防団緊急伝達システム運用開始
平成 2年 3月	愛知県下広域消防相互応援協定締結
平成 2年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課を新設、従来の管理課を総務課と改称
平成 2年 5月	尾張西北部地区消防相互応援協定締結
平成 3年 4月(一)	北部消防出張所が北方消防出張所になり、北方町北方地内に開所 葉栗消防出張所に消防隊を配置
平成 4年 3月(一)	消防緊急通信指令システムを導入し、情報連絡体制を確立 市民への防災思想普及を目指し「一宮市民防災センター」を開所
平成 5年 3月(木)	消防緊急通信指令施設(I型)を運用開始
平成 5年 4月(尾)	消防本部の組織に関する規則を改正、消防署の組織に関する規程を改正
平成 5年 4月(一)	救急救命士1名、救急Ⅱ課程修了者3名により、高規格救急自動車の運用開始
平成 5年 8月(一)	救急救命率向上を目指し、生体情報伝送装置を導入
平成 7年 6月(一)	緊急消防援助隊発足 本市消防は救急部隊を編成登録
平成 8年 1月(木)	消防庁舎車庫増築、救急救命士2名により高規格救急自動車運用開始
平成 9年 3月(一)	浅井消防出張所を浅井町小日比野地内に移転
平成10年12月(一)	千秋消防出張所を千秋町佐野字加村地内に移転
平成11年 4月(一)	東海北陸自動車道の開通に伴い、葉栗消防出張所に救助隊を配置
平成12年11月(尾)	聴覚障害者用119番受信ファクシミリの導入
平成13年 4月(一)	消防本部の組織改革を行い、予防防災課予防防災係を予防係と防災係に分化
平成14年 3月(尾)	消防緊急通信指令施設(I型)を更新
平成14年 4月(一)	千秋消防出張所に救急隊を配置し、救急隊7隊すべて高規格救急自動車で運用
平成14年 4月(尾)	消防本部及び消防署の組織に関する規則を改正し予防係を予防防災係、警備係を火災救助係とした。
平成15年 4月(一)	緊急消防援助隊に消火部隊を編成登録、救急部隊を追加編成登録

平成16年 8月	市町合併を前に消防緊急通信指令システムを更新し、一宮市消防本部と木曽川町消防本部が共同通信運用開始
平成17年 4月	一宮市、尾西市、木曽川町との合併に伴い、一宮市消防本部はそのまま、旧尾西市消防本部は尾西消防署、旧木曽川町消防本部は木曽川消防署に名称変更
平成19年 4月	一宮市消防団3団(一宮・尾西・木曽川)の報酬、費用弁償、階級を統一
平成20年 4月	一宮市消防団3団の連合を一団に統合
平成21年 4月	八幡消防分署に特別救助隊を、丹陽消防出張所に救急隊を配置 女性消防吏員を初採用 一宮市消防団第7方面隊(木曽川)を再編、30分団を26分団とした。
平成23年 4月	萩原消防出張所庁舎移転に伴い、救急隊を配置 尾西消防署に特別消防隊を配置
平成24年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
平成24年 4月	一宮市消防団を再編、26分団を25分団、7方面隊を4方面隊とし、尾西地区の分団名称を変更
平成25年 4月	今伊勢消防出張所と奥消防出張所の統合に伴い、今伊勢・奥消防出張所を開所し、救急隊を配置
平成27年 3月	「一宮市民防災センター」を開所
平成28年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 消防救急デジタル無線設備整備
平成28年 4月	「一宮市・稲沢市消防指令センター」を運用開始 八幡消防分署の特別救助隊を一宮消防署本署に配置 消防署の組織に関する規程を改正、従来の一宮消防署管理グループを管理課と改称
平成29年 3月	一宮消防署本署に支援車を導入
平成29年 4月	浅井消防出張所と西成消防出張所の統合に伴い、浅井・西成消防出張所を開所し、救急隊を配置 一宮消防署本署に特別消防隊を配置
平成31年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新
令和 2年 2月	旧丹陽消防出張所を解体し、訓練スペースを整備
令和 2年10月	Net119緊急通報システムの運用を開始
令和 3年 3月	消防緊急通信指令システム部分更新 一宮消防署本署に救助資機材搬送車を導入
令和 3年 4月	一宮消防署本署に高度救助隊を配置 木曽川消防署に特別救助隊を配置
令和 4年 4月	消防本部の組織に関する規則を改正し、一宮消防署管理課と総務課内の施設装備担当を統合して消防救急課を創設、消防救急課内に普通勤務の救急隊を配置 消防団員の処遇改善として、年額報酬に加え出動報酬を創設

消防の主な行事

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年			
月	日	行事名	実施場所
4月	4日	消防団員任命式	尾西消防署
	8日	高度救助隊発隊式	消防本部
5月	20日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
6月	1日～22日	・救急啓発活動(熱中症予防) ・住宅用火災警報器に関する街頭アンケート	テラスウォーク一宮、アピタ木曾川店、MEGAドン・キホーテUNY伝法寺店、ピアゴ尾西店
7月	27日	消防職員委員会	消防本部
10月	22日	消防本部安全衛生委員会	消防本部
	10月21日～ 12月17日	児童防火作品入賞作品展示	中央図書館、尾西図書館、木曾川庁舎、ツインアーチ138タワー展望台
	26日	中日本ハイウェイ・パトロール名古屋株式会社との合同訓練	中日本ハイウェイ・パトロール名古屋株式会社羽島基地作業ヤード
11月	2日	三市消防本部合同水難救助勉強会	羽島市防災ステーション
	6日	・2021ステアレース138全国大会 ・消防フェア「きて・みて・たいけん138」	138タワーパーク
	7日	一宮市消防団観閲式	尾西河川敷グラウンド
	11日	令和3年秋季火災予防運動消防訓練	社会福祉法人 杏嶺会 一宮医療療育センター
	11日	尾張西北部地区消防合同訓練	一宮医療療育センター
	12日	警察等合同危険物車両路上立入検査	毛受地内主要地方道岐阜稲沢線
	16・17日	第3回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	18・19日	第4回甲種防火管理新規講習会	尾西消防署
	11月19日～12月3日	消防のあゆみ写真展	一宮市立中央図書館
	20日	第43回一宮市消防音楽隊定期演奏会	一宮市民会館
	24・25日	令和3年度警防技術発表会	一宮消防署本署
27日	朝日連区防災訓練	朝日東小学校	
12月	10日	年末特別査察	ピアゴ尾西店
	13日	年末特別査察	アピタ木曾川店
	14日	年末特別査察	名鉄百貨店一宮店、一宮ニッケ・コーナンプラザ、ピアゴパワー妙興寺店、エディオン一宮本店
	15日	年末特別査察	MEGAドン・キホーテUNY一宮大和店、テラスウォーク一宮、イオンモール木曾川、パロー一宮西ショッピングセンター
	29・30日	消防団年末特別警戒	各分団庁舎
令和4年			
2月	22日	甲種防火管理再講習会	いちのみや中央プラザ
3月	3日	一宮市婦人消防クラブ防火パトロール	テラスウォーク一宮、大志連区、奥町連区

消防情勢の推移

	年別	市 勢		消（防千 年予円 度算）	職員(実員)		水利(公設のみ)		
		人 口	世 帯		消 防 吏 員	そ の 他	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽
旧一宮市	平成12年	278,869	91,295	2,491,621	251	1	2,707	378	272
	平成13年	279,115	91,796	2,635,074	256	1	2,746	378	273
	平成14年	280,778	94,064	2,730,724	269	1	2,794	374	274
	平成15年	281,772	95,888	3,536,546	265	1	2,854	373	276
	平成16年	283,079	98,013	2,555,423	265	1	2,895	370	278
旧尾西市	平成12年	58,668	18,800	690,273	67	1	568	185	23
	平成13年	58,963	19,049	716,541	65	2	574	184	23
	平成14年	58,932	19,264	587,803	63	3	581	185	23
	平成15年	58,901	19,518	719,320	63	3	604	227	23
	平成16年	59,006	19,894	580,935	63	2	618	227	23
旧木曾川町	平成12年	31,457	10,307	422,413	38	1	223	26	75
	平成13年	31,576	10,440	435,446	38	1	223	26	75
	平成14年	31,848	10,666	410,040	40	1	224	26	75
	平成15年	32,065	10,834	535,346	42	1	224	26	75
	平成16年	32,340	11,052	403,905	44	1	224	26	75
一宮市	平成17年	377,216	133,401	3,642,931	364	3	3,784	621	373
	平成18年	378,725	135,786	3,453,484	367	2	3,818	619	377
	平成19年	381,036	138,435	3,552,094	369	1	3,841	615	377
	平成20年	383,308	141,180	3,532,269	368	1	3,868	613	377
	平成21年	384,706	143,259	3,420,599	368	1	3,886	612	377
	平成22年	385,772	144,838	3,449,748	374	1	3,910	611	377
	平成23年	386,132	146,178	3,566,530	383	1	3,946	611	377
	平成24年	386,390	147,585	3,608,915	388	1	3,960	608	377
	平成25年	386,447	148,759	3,496,663	388		3,978	607	377
	平成26年	386,429	150,754	3,453,097	386	1	3,980	606	377
	平成27年	386,410	152,651	4,650,533	382	1	3,988	605	375
	平成28年	386,094	154,692	3,934,001	389		4,005	603	375
	平成29年	386,105	156,693	3,716,700	389		4,017	603	375
	平成30年	385,777	158,534	4,263,243	390		4,023	603	375
	令和元年	385,160	160,426	4,049,916	396		4,032	603	375
令和2年	384,790	162,551	4,080,905	400		4,040	603	376	
令和3年	383,582	164,198	3,979,486	401		4,053	602	381	
令和4年	381,366	164,965	4,104,305	404		4,066	602	383	

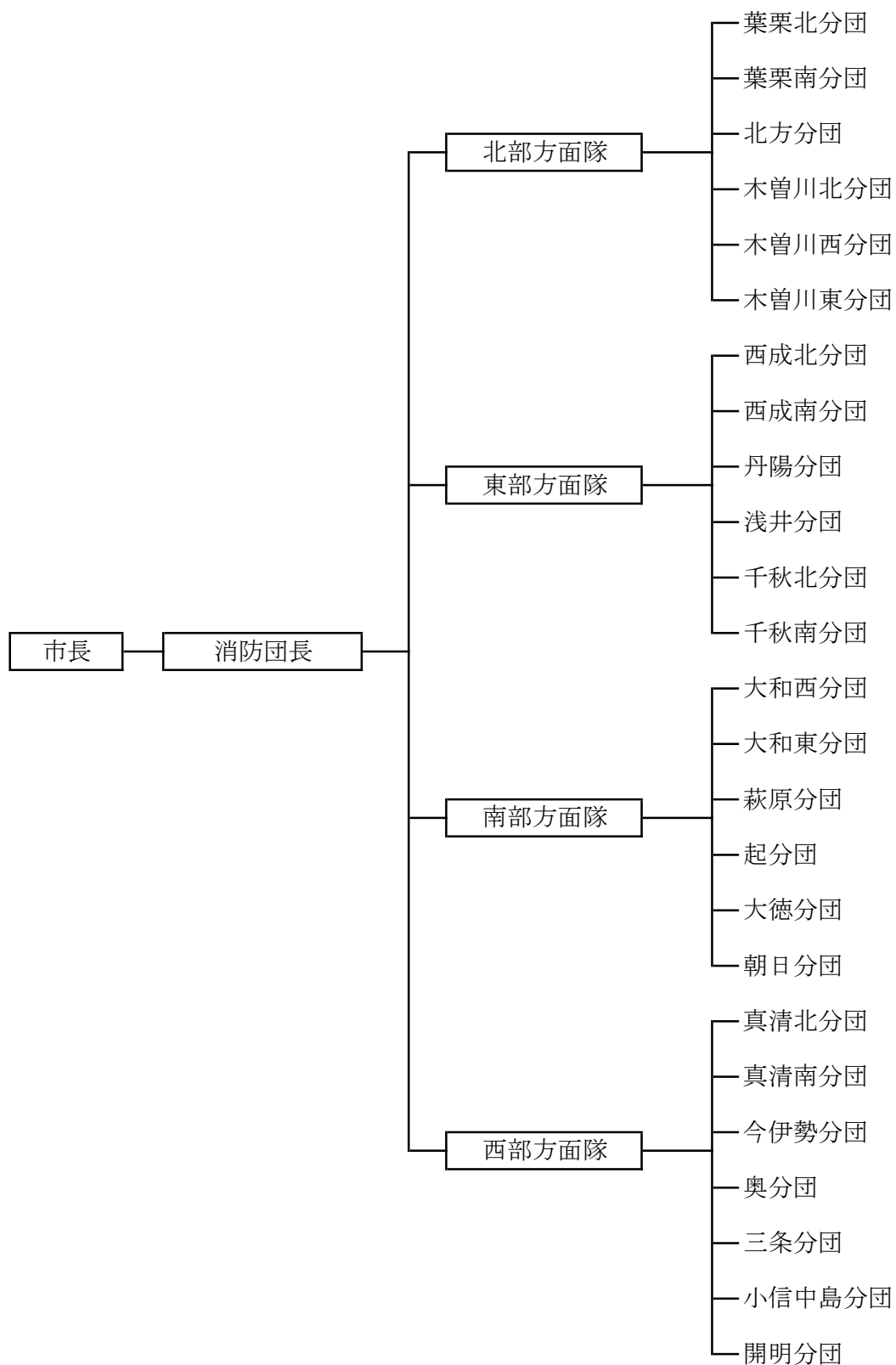
(備考)旧一宮市の市勢、職員、水利、消防団については、平成12年までは1月1日現在の数値
平成13年以降は4月1日現在の数値
令和3年から40㎡未満の防火水槽を水利数に計上

火 災				救 急		救 助		消 防 団	
火災 件数	損害額 (千円)	死者	負傷者	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	救助 人員	消防 団数	団員 数 (実員)
167	362,028	1	15	7,980	8,046	156	77	1	316
171	219,923	1	14	8,058	8,186	144	64	1	315
152	300,597	5	6	8,308	8,375	127	59	1	316
145	369,009	1	10	9,055	9,009	152	66	1	316
154	219,349	2	24	9,721	9,708	167	65	1	319
35	28,186	4	1	1,368	1,422	10	10	1	149
21	20,788		4	1,397	1,432	12	14	1	154
37	69,740	3	5	1,452	1,486	20	17	1	153
30	28,574		3	1,662	1,678	15	18	1	151
38	15,981		4	1,807	1,815	28	11	1	152
13	5,786	1	1	704	705	2		1	122
20	95,841		2	747	755	10	6	1	122
17	31,124	1	3	864	861	5	8	1	123
10	44,743		1	856	855	5	3	1	118
12	20,938			1,000	1,006	7	4	1	117
160	284,098	7	9	13,600	13,407	156	63	3	582
169	823,324	5	35	13,622	13,346	171	78	3	587
199	496,587	9	19	13,784	13,444	213	83	3	583
164	120,129	10	15	13,478	12,935	183	103	1	580
162	166,070	5	27	14,007	13,403	203	99	1	562
131	121,566	8	20	14,786	14,078	195	76	1	543
131	162,609	7	15	15,692	14,887	214	90	1	540
101	116,025	2	20	15,400	14,574	163	67	1	526
87	201,673	3	6	15,674	14,874	193	86	1	500
104	248,407	5	13	15,592	14,629	196	77	1	502
83	87,236	5	9	16,167	15,257	190	86	1	510
99	55,087	3	16	16,882	15,923	210	113	1	516
80	96,788	2	13	17,381	16,416	229	119	1	516
68	365,878	4	10	18,274	17,262	241	109	1	526
59	196,002	1	8	18,626	17,716	234	112	1	531
57	792,224	2	8	16,361	15,513	178	100	1	527
81	190,252	3	15	17,136	16,257	236	130	1	510
—	—	—	—	—	—	—	—	1	503

消防本部・消防署の事務分掌

消 防 本 部	
総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> ○予算の執行及び経理、文書の管理、統計、消防総合計画の企画調整 ○職員の人事及び教養、安全管理及び衛生管理、表彰、音楽隊、消防職員委員会、福利厚生、広報 ○消防団、水防、儀式
予 防 課	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防対策の企画調整、火災の調査及び火災調査技術の研究指導 ○防火管理、査察基準の策定及び査察技術の指導、火災予防査察、防火対象物の定期点検制度及び自主点検制度 ○建築確認及び許可の同意、建築物等の防火及び防災、消防用設備等の設置の指導及び検査 ○危険物の規制及び指導、危険物製造所等の許認可及び検査、危険物取扱者及び危険物保安監督者の育成指導、少量危険物及び指定可燃物等の規制、液化石油ガス等の保安、防火対象物の違反処理
消 防 救 急 課	<ul style="list-style-type: none"> ○消防署の予算編成、消防署の企画調整、災害の警戒及び防御、消防活動の基準、研究及び対策、消防署員の教育及び訓練 ○消防相互応援、施設、水利、車両及び装備の整備、消防計画 ○救急及び救助、救急の普及及び応急手当、指導
通 信 指 令 課	<ul style="list-style-type: none"> ○災害受信、消防部隊の統制運用、消防通信の運用、消防防災に係る情報収集及び伝達、無線局の管理、無線従事者の選任及び解任、庁内情報システムの運用
消 防 署	
管理グループ (尾西消防署) (木曽川消防署)	<ul style="list-style-type: none"> ○火災予防条例等の届出、防火管理、火災予防査察、火災の調査、消防団、所管施設及び車両の修繕
指 揮 係 警 防 1・2 係	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の警戒及び防御、警防計画及び訓練、地理及び水利の調査研究、火災予防査察、火災の調査、自主防災会、消防署の庶務、火災予防条例等の届出
救 急 係 救 助 係	<ul style="list-style-type: none"> ○救急及び救助並びに災害の警戒及び防御、火災予防査察、救助の統計、消防署の設備の管理

消防団の組織



消防本部・消防署の庁舎現況

令和4年4月1日現在

名 称	所 在 地	構 造	延床面積(㎡)	敷地面積(㎡)	建築年月
消 防 本 部 一 宮 消 防 署 本 署	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄筋コンクリート造3階建	2,667.00	3,419.99	S43.3
消 防 本 部 西 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	191.19	上記に併設	S59.3
消 防 本 部 南 車 庫	緑 1 丁 目 1 番 10 号	鉄 骨 造 平 家 建	134.70	上記に併設	H14.11
浅井・西成消防出張所	浅井町東浅井字新開前27番地	鉄 骨 造 2 階 建	572.45	2,730.42	H29.3
千 秋 消 防 出 張 所	千秋町佐野字加村1番地1	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	359.07	1,323.00	H10.11
消 防 署 整 備 工 場 (防 災 備 蓄 倉 庫 併 設)	千秋町佐野字加村1番地1	鉄 骨 造 平 家 建	147.51 (83.44)	上記に併設	H10.11
八 幡 消 防 分 署	八 幡 4 丁 目 1 番 12 号	鉄筋コンクリート造2階建	498.81	751.28	H20.9
大 和 消 防 出 張 所	大和町荻安賀字上東出37番地	鉄筋コンクリート造平家建 車庫・鉄骨造折板葺	347.68	1,421.67	S54.12
丹 陽 消 防 出 張 所	多加木4丁目30番13号	鉄 骨 造 2 階 建	384.84	1,071.08	H21.3
尾 西 消 防 署	西五城字中切浦13番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,290.05	6,580.70	H1.11
尾 西 消 防 署 倉 庫	西五城字中切浦13番地1	鉄 骨 造 平 家 建	72.78	上記に併設	H1.10
萩 原 消 防 出 張 所	萩原町串作字水絶15番地	鉄 骨 造 2 階 建	485.74	1,105.45	H23.3
今 伊 勢 ・ 奥 消 防 出 張 所	今伊勢町馬寄字東瀬古22番地1	鉄 骨 造 2 階 建	526.69	1,852.59	H25.3
木 曾 川 消 防 署	木曾川町黒田字北宿二の切247番地1	鉄筋コンクリート造2階建	1,409.48	5,271.87	S53.3
葉 栗 消 防 出 張 所	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	356.45	1,089.00	S62.3
葉 栗 消 防 出 張 所 倉 庫	大 毛 字 御 申 塚 19 番 地	鉄 骨 造 平 家 建	51.84	上記に併設	S62.3
北 方 消 防 出 張 所	北方町北方字西金丸60番地	鉄筋コンクリート造2階建 車庫・鉄骨造折板葺	408.39	1,125.30	H3.3
緑 消 防 倉 庫	緑 1 丁 目 4 番 2 号	鉄 骨 造 2 階 建	333.30	315.04	H8.2

※()内の面積は外数で記載

消防団の庁舎現況

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
北部 方面隊	葉栗北分団	光明寺字山屋敷23番地5	鉄骨造平家建	67.82	238.73	H15.12
	葉栗南分団	島村字下老光寺30番地	鉄骨造平家建	69.60	621.61	H20.3
	北方分団	北方町北方字中屋敷郷263番地	鉄骨造平家建	60.35	519.61	H5.1
	木曾川北分団	木曾川町黒田字松山東72番地	鉄筋コンクリート造 2階建	126.00	188.00	H2.3
	木曾川西分団	木曾川町玉ノ井字穴太部5番地	鉄筋コンクリート造 2階建	99.00	203.14	H14.3
	木曾川東分団	木曾川町黒田八ノ通り139番地1	鉄筋コンクリート造 2階建	138.23	556.14	H13.3
東部 方面隊	西成北分団	西大海道字本郷85番地10	鉄骨造平家建	60.35	300.49	H6.3
	西成南分団	大赤見字鷲目4番地1	鉄骨造2階建	97.94	252.00	H19.3
	丹陽分団	平島3丁目6番9号	鉄骨造平家建	63.90	376.08	H13.12
	浅井分団	浅井町前野字郷西43番地1	鉄骨造平家建	105.00	380.00	H4.2
	千秋北分団	千秋町加納馬場字高須56番地1	鉄骨造2階建	97.94	147.61	H21.3
	千秋南分団	千秋町小山字城41番地1	鉄骨造平家建	68.90	624.01	H18.2

令和4年4月1日現在

	名 称	所 在 地	構 造	延床面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)	建築年月
南部方面隊	大和西分団	大和町荊安賀字火口上1665番地	鉄骨造2階建	97.94	149.75	H14.12
	大和東分団	大和町妙興寺字高畑14番地1	鉄骨造平家建	56.00	221.86	H3.3
	萩原分団	萩原町河田方字西狭間7番地3	鉄骨造平家建	68.90	495.00	H17.2
	起分団	起字西茜屋27番地2	鉄骨造平家建	72.90	628.10	H25.12
	大徳分団	西五城字飛石北31番地1	鉄骨造平家建	97.20	611.00	H16.3
	朝日分団	明地字西阿古井80番地	鉄骨造平家建	72.90	490.86	H24.3
西部方面隊	真清北分団	桜3丁目11番10号	鉄骨造平家建	50.60	352.12	S62.3
	真清南分団	大志2丁目7番9号	鉄骨造2階建	54.88	85.96	S58.3
	今伊勢分団	今伊勢町馬寄字吉田浦56番地1	鉄骨造平家建	60.35	593.00	H12.12
	奥分団	奥町字下口西23番地1	鉄骨造平家建	70.68	876.03	H22.2
	三条分団	三条字郷南西37番地1	鉄骨造平家建	72.90	381.95	H22.11
	小信中島分団	小信中島字中平10番地	鉄骨造2階建	116.36	281.64	H31.2
	開明分団	開明字杵西郭69番地1	鉄骨造平家建	97.20	736.12	H15.12

消防本部・消防署車両の現勢

令和4年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過		ポンプ	
						年数	級別	メーカー	
消防本部・一宮消防署本署	本部指令車		一宮 800 さ 1379	トヨタ DBA-ZRR85G	H26	7			
	本署指令車		一宮 800 さ 2297	トヨタ 5BF-S403M	R2	1			
	本署指揮車		一宮 800 さ 1851	トヨタ CBF-TRH226S	H29	4			
	本署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 244	日野 2KG-GX2ABA	R2	1	A2	モリタ	
	本署2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 274	日野 2KG-GX2ABA	R3	0	A2	モリタ	
	一宮1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 22	三菱 KK-FL63HGX改	H15	18	A2	日本ドライケミカル	
	本署はしご車	30m先端屈折はしご付消防自動車	一宮 830 す 2018	日野 2DG-FR1AJA	H30	3			
	本署救助工作車	3tクレーン装備	一宮 800 は 21	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	16			
	救助資機材搬送車	パワーゲートアルミボディ	一宮 800 さ 2283	日野 2KG-XZU775M	R2	1			
	本署救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 た 138	トヨタ CBF-TRH226S	R1	2			
	一救急1号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 681	トヨタ CBF-TRH226S	H21	12			
	本署広報1号車		一宮 800 さ 164	トヨタ UA-NCP59G	H14	19			
	本署広報2号車		一宮 800 さ 264	ニッサン TA-NT30	H13	20			
	本署広報3号車		一宮 800 さ 170	トヨタ GF-AT211G	H12	21			
	本署広報4号車		一宮 480 う 1560	ダイハツ EBD-S321V	H30	3			
	本署広報5号車		一宮 800 さ 401	ニッサン UA-NE51	H15	18			
	本署広報6号車		一宮 800 さ 186	ニッサン CBA-NT30	H18	15			
	本署広報7号車		一宮 500 に 7589	トヨタ 3BA-ZRR80G	R3	0			
	本署広報8号車		一宮 100 さ 286	トヨタ GE-RZH183K	H14	19			
	本署広報9号車		一宮 500 そ 6867	ホンダ DBA-GB3	H22	11			
	本署広報10号車		一宮 500 さ 6305	ホンダ GF-RF1	H12	21			
	搬送3号車	パワーゲート幌	一宮 800 さ 335	いすゞ PB-NKS81AR	H17	16			
	支援車	20人乗りマイクロバス	一宮 800 さ 1684	ニッサン ABG-DHW41	H28	5			
出張所	浅井・西成	浅井・西成1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 52	日野 SDG-GD7JGAA改	H23	10	A2	モリタ
		浅井・西成2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 985	日野 SKG-XZU640M	H23	10	A2	モリタ
		浅井・西成救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 1812	トヨタ CBF-TRH226S	H30	3		
	千秋	千秋1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 27	日野 BDG-GD7JGWA改	H19	14	A2	長野ポンプ
		千秋2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 1986	日野 TPG-XZU640M	H30	3	A2	日本機械
	千秋救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2012	トヨタ 3BF-TRH226S	R2	1			

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過		ポンプ	
						年数	級別	メーカー	
八幡消防分署	分署指令車		一宮 800 さ 708	ニッサン DBA-NT31	H21	12			
	分署1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 66	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	9	A2	モリタ	
	分署救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2721	トヨタ CBF-TRH226S	H26	7			
	分署広報1号車		一宮 480 う 3037	スズキ HBD-DA17V	R1	2			
	搬送2号車	幌	一宮 800 さ 330	マツダ PB-LKS81AR	H17	16			
出張所	大和	大和1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 30	日野 BDG-GD7JGWA改	H20	13	A2	長野ポンプ
		大和救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2822	トヨタ CBF-TRH226S	H27	6		
	丹陽	丹陽1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 45	日野 BDG-GD7JGWA改	H22	11	A2	モリタ
		丹陽救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 293	トヨタ CBF-TRH226S	H28	5		
尾西消防署	尾西指令車		一宮 800 さ 291	ニッサン CBA-MNE51	H17	16			
	尾西指揮車		一宮 800 さ 1553	トヨタ CBF-TRH226S	H27	6			
	尾西1号車	化学消防ポンプ自動車 (水 1,500ℓ、薬液 500ℓ)	一宮 800 は 245	日野 2KG-GX2ABA	R2	1	A2	モリタ	
	尾西2号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 147	いすゞ SKG-FSR90S2	H28	5	A2	長野ポンプ	
	一宮3号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 25	日野 ADG-GX7JGWA改	H17	16	A2	長野ポンプ	
	尾西はしご車	30m先端屈折はしご付消防自動車	一宮 830 す 2019	日野 2DG-FR1AJA	R1	2			
	尾西救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2821	トヨタ CBF-TRH226S	H27	6			
	一宮救急3号車	高規格救急自動車	一宮 800 さ 973	ニッサン CBF-FPWGE50改	H23	10			
	尾西広報1号車		一宮 800 さ 457	ニッサン GF-QU14	H11	22			
	尾西広報2号車		一宮 800 さ 507	トヨタ GC-KR42V	H12	20			
	尾西広報3号車		一宮 480 う 3036	スズキ HBD-DA17V	R1	2			
	搬送1号車		一宮 800 さ 345	マツダ PB-LKS81AR	H17	16			
	出張所	萩原	萩原1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 32	日野 BDG-GD7JGWA改	H21	12	A2
萩原2号車			消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 2136	日野 2RG-XZU640M	R1	2	A2	日本機械
萩原救急1号車			高規格救急自動車	一宮 830 さ 2722	トヨタ CBF-TRH226S	H26	7		
今伊勢・奥		今伊勢・奥1号車	水槽付消防ポンプ自動車	一宮 800 は 77	日野 SDG-GD7JGAA改	H25	8	A2	モリタ
		今伊勢・奥2号車	消防ポンプ自動車	一宮 800 さ 724	日野 BDG-XZU334M	H21	12	A2	モリタ
		今伊勢・奥救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 2112	トヨタ 3BF-TRH226S	R3	0		

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過 年数	ポンプ		
							級別	メーカー	
木曾川 消防署	木曾川 指令車		一宮 800 さ 529	トヨタ GF-RZJ95W	H14	19			
	木曾川 1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 65	日野 SDG-GD7JGAA改	H24	9	A2	モリタ	
	一宮2号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 11	いすゞ PB-FSS35G3J改	H16	17	A2	日本機械	
	木曾川 救助工作車	3tクレーン装備	一宮 800 は 9	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	15			
	木曾川 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 せ 301	トヨタ CBF-TRH226S	H29	4			
	一宮 救急2号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 252	ニッサン CBF-FPWGE50改	H24	9			
	木曾川 広報1号車		一宮 480 い 9920	スズキ HBD-DA17V	H29	4			
	木曾川 広報2号車		一宮 800 さ 424	トヨタ CBA-NCP59G	H17	16			
	搬送4号車	3tクレーン装備	一宮 800 さ 393	日野 ADG-FD7JLWA	H17	16			
出張 所	葉栗	葉栗1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 175	日野 2KG-GX2ABA	H29	4	A2	モリタ
		葉栗 救急1号車	高規格救急自動車	一宮 830 さ 263	トヨタ CBF-TRH226S	H25	8		
	北方	北方1号車	水槽付消防 ポンプ自動車	一宮 800 は 10	日野 ADG-GD7JGWA改	H18	15	A2	長野ポンプ

総数68台(消防本部・一宮消防署38台、尾西消防署18台、木曾川消防署12台)

タンク車	16台(非常用3台含む)	救助工作車	2台
ポンプ車	4台	化学車	1台
救急車	14台(非常用3台含む)	その他	29台
はしご車	2台		

消防団車両の現勢

令和4年4月1日現在

区分	名称	摘要	登録番号	車名 型式	購入 年度	経過		ポンプ	
						年数	級別	メーカー	
北部方面隊	葉栗北分団	葉栗北分団車	積載車	一宮830す119	ニッサン TC-SH4F23	H18	15	B2	トーハツ
	葉栗南分団	葉栗南分団車	ポンプ車	一宮800さ100	いすゞ PB-NKR81N	H16	17	A2	モリタ
	北方分団	北方分団車	ポンプ車	一宮830の119	いすゞ BKG-NMR85N	H22	11	A2	日本機械
	木曽川北分団	木曽川北分団車	積載車	一宮830ひ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	10	B2	トーハツ
	木曽川西分団	木曽川西分団車	積載車	一宮830は119	ニッサン CBF-SQ2F24	H23	10	B2	トーハツ
	木曽川東分団	木曽川東分団車	ポンプ車	一宮830ね119	日野 BDG-XZU304E	H21	12	A2	モリタ
東部方面隊	西成北分団	西成北分団車	積載車	一宮830せ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	15	B2	トーハツ
	西成南分団	西成南分団車	ポンプ車	一宮800さ376	日野 KK-XZU301E	H15	18	A2	モリタ
	丹陽分団	丹陽分団車	積載車	一宮800さ112	ニッサン TC-SH4F23	H16	17	B2	トーハツ
	浅井分団	浅井分団車	積載車	一宮830さ119	ニッサン TC-SH4F23	H18	15	B2	トーハツ
	千秋北分団	千秋北分団車	積載車	一宮830ち119	ニッサン TC-SH4F23	H19	14	B2	トーハツ
	千秋南分団	千秋南分団車	積載車	一宮830み119	ニッサン CBF-SQ2F24	R1	2	B2	シバウラ
南部方面隊	大和西分団	大和西分団車	積載車	一宮800さ406	ニッサン TC-SH4F23	H17	16	B2	トーハツ
	大和東分団	大和東分団車	ポンプ車	一宮830ぬ119	日野 BDG-XZU304E	H21	12	A2	小川ポンプ
	萩原分団	萩原分団車	ポンプ車	一宮800さ383	日野 KK-XZU301E	H15	18	A2	モリタ
	起分団	起分団車	積載車	一宮830て119	ニッサン CBF-SQ2F24	H20	13	B2	トーハツ
	大徳分団	大徳分団車	ポンプ車	一宮830に119	日野 BDG-XZU304E	H21	12	A2	小川ポンプ
	朝日分団	朝日分団車	積載車	一宮830ふ119	ニッサン CBF-SQ2F24	H24	9	B2	トーハツ
西部方面隊	真清北分団	真清北分団車	積載車	一宮830た119	ニッサン TC-SH4F23	H19	14	B2	トーハツ
	真清南分団	真清南分団車	積載車	一宮800め119	ニッサン CBF-SQ2F24	R3	0	B2	シバウラ
	今伊勢分団	今伊勢分団車	積載車	一宮800さ407	ニッサン TC-SH4F23	H17	16	B2	トーハツ
	奥分団	奥分団車	ポンプ車	一宮800さ380	日野 KK-XZU301E	H15	18	A2	モリタ
	三条分団	三条分団車	ポンプ車	一宮830と119	日野 BDG-XZU304E	H20	13	A2	GMいちばら
	小信中島分団	小信中島分団車	積載車	一宮830な119	ニッサン CBF-SQ2F24	H21	12	B2	トーハツ
開明分団	開明分団車	ポンプ車	一宮830ほ119	日野 TKG-XZU640M	H26	7	A2	長野ポンプ	

総数 25台 (ポンプ車 10台、積載車 15台)

消防音楽隊のあゆみ

明治28年、一宮銀行頭取の佐分慎一郎氏が、外国から楽器を取り寄せ、銀行員を音楽隊員に任命し「一宮音楽会」が誕生しました。その頃は、日清戦争のさなかで隊員の服装も軍国調でした。演奏活動は、一宮駅等において出兵兵士の歓送迎や宮田用水通水式記念演奏などを行いました。

明治37年には、「一宮軍楽会」に改称しました。当時、音楽隊は大変珍しい存在でしたので、名古屋第三師団の招魂祭をはじめ、豊橋・四日市・静岡・箱根など各地から演奏依頼が殺到しました。しかし、押し寄せる戦争の波には勝てず演奏活動を続けることができなくなり楽器を第四尋常小学校（現在の大志小学校）へ保管していました。

その後、一宮第一青年団が音楽隊を再結成し、昭和9年には消防組がこれを受け継ぎ、全国初の消防音楽隊が誕生しました。大森喜代三郎氏を中心として音楽隊員を増員し、先代の軍楽会同様、各方面から好評を博し、演奏活動も軌道に乗りました。しかし、太平洋戦争の激化により、またも演奏活動を中止せざるをえなくなりました。

空襲により、市内の大部分が消失しましたが、楽器は市役所の望楼に保管したので、すべて無事でした。楽器が生き残ったおかげで、隊員こそ少人数になりましたが、再び練習が開始されました。焦土と化した中から、疲弊した市民を励ますように希望のメロディーが流れはじめました。苦難の時代も音楽活動を続け、消防音楽隊として定着してきました。

昭和36年に消防音楽隊は、一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団となりました。本格的な吹奏楽団としてオレンジ色の帽子、上着、クリーム色のズボン身をまとい、華やかな彩りと高度な技量を市民に披露しました。そして、昭和37年には演奏効果をより充実するため、楽器の編成に一部弦楽器を加え、名称を「一宮市音楽隊」に改称しました。昭和51年に一宮市音楽隊設置規則を制定、昭和62年には、「一宮市消防音楽隊」に改称しました。

現在は隊員36名が、市の行事はもちろん小中学校演奏会、各種イベント、パレード等、年間約30回の演奏活動を幅広く実施しています。

昭和55年から毎年市民会館で開催している定期演奏会では、ゲストに著名な歌手や指揮者を招いて一年間の練習の成果を発表しており、芸術の秋の一大イベントになっています。平成3年中には、一宮市制70周年記念事業に多数参加しイベントに花をそえました。

そして、平成5年は国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の式典演奏を、平成6年には、第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の式典演奏等を担当するなど、大会の運営に貢献するとともに、音楽隊誕生100周年を迎えました。この記念演奏会を7月と11月に2回開催し、多くの市民から好評を博しました。平成13年から、学校演奏会30周年を記念して第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催し、情操教育の一環として演奏技術の向上を目的に毎年演奏活動を実施しています。

<年表>

- 明治28年 一宮銀行佐分頭取を理事長として一宮音楽会が発足、日清戦争出兵兵士の歓送演奏
- 明治32年 宮田用水通水記念演奏
- 明治37年 一宮軍楽会と改称
- 昭和 2年 一宮第一青年団音楽隊と改称し、大森喜代三郎氏が隊長兼指揮者として就任
- 昭和 9年 青年団音楽隊から一宮消防組音楽隊に改め隊員も消防組員を主体として全国初の消防音楽隊が発足
- 昭和19年 太平洋戦争の激化により活動を停止
- 昭和21年 隊員25名で消防音楽隊を再編成
- 昭和36年 消防音楽隊は一宮商工会議所管弦楽団と合併し、一宮吹奏楽団としてスタート
- 昭和37年 一宮市音楽隊と改称し市営となる
- 昭和38年 創立3周年記念音楽会を開催
- 昭和43年 NHK土曜コンサートで全国放送
- 昭和44年 名古屋まつり市中パレードに出演
- 昭和46年 一宮市繊維団地完成祝典演奏
- 昭和47年 プロ野球オープン戦入場式及び演奏会、ドリル演奏を実施
- 昭和51年 一宮市音楽隊設置規則制定
一宮ライオンズクラブ結成20周年記念式典演奏
愛知県消防大会で記念演奏
- 昭和53年 一宮市民憲章制定発表会で記念演奏
一宮市スポーツ文化センター完成式で記念演奏
ロータリークラブ国際年次大会で記念演奏
- 昭和54年 日中友好国際ソフトボール大会の入場式及び演奏会
- 昭和55年 一宮市音楽隊20周年記念演奏会を開催
- 昭和62年 一宮市音楽隊を一宮市消防音楽隊と改称し、隊長の大森喜代三郎氏は名誉隊長に、隊長には消防長がそれぞれ就任
- 平成元年 世界デザイン博覧会のJTミュージックラン、一宮フェスティバルに出演
- 平成 2年 「イーストマン・ウインド・アンサンブル」指揮者ドナルド・ハンスバーガー氏に指導を受ける
- 平成 3年 一宮市制70周年記念事業に多数参加
- 平成 4年 指揮者としてチェコスロバキア出身アントニン・キューネル氏を迎える
- 平成 5年 国民体育大会ソフトテニス競技会リハーサル大会の開会式、表彰式、閉会式の演奏を担当
- 平成 6年 第49回国民体育大会ソフトテニス競技会の開始式、表彰式、閉会式の演奏を担当
7月と11月に音楽隊誕生100周年記念演奏会を開催
- 平成 7年 第17回定期演奏会で交響詩「阪神大震災」(アントニン・キューネル作曲)を初演
- 平成 9年 第19回定期演奏会で新調したユニフォームを初披露

- 平成10年 第10回定期演奏会に名古屋市消防音楽隊(カラーガード隊リリーエンゼルス)が友情出演
- 平成13年 学校演奏会30周年を記念し、第1回中学生と消防音楽隊のふれあいコンサートを開催
一宮市制80周年記念として、第23回定期演奏会に神崎愛氏をゲストとして迎える
- 平成16年 第26回定期演奏会で「しょうぼうじどうしゃじぶた」を題材に子供たちの演劇を演奏
- 平成20年 第30回定期演奏会で「カルメン」をテーマにゲストによる歌と踊り、そして音楽隊とのコラボレーションを披露
- 平成21年 第31回定期演奏会で市民参加による吹奏楽と合唱のコラボレーション、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を披露
- 平成22年 第32回定期演奏会で「スポーツと音楽」をテーマにスポーツ&音楽ライターの玉木正之氏と元フィギュアスケート選手の中野友加里氏をゲストに迎える
- 平成23年 第33回定期演奏会で「世界を旅する」をテーマに野村哲也氏(写真家)、八木澤教司氏(作曲家)、大石邦彦氏(CBCアナウンサー)をゲストに迎える
- 平成24年 第34回定期演奏会で「ミュージカル」をテーマに新妻聖子氏(ミュージカル女優)をゲストに迎える
- 平成25年 第35回定期演奏会で「世界の中の日本」をテーマに山口晃司氏(津軽三味線奏者)、白井奈津氏(ラジオDJ)をゲストに迎える
- 平成26年 第36回定期演奏会で桂米團治氏(落語家)をゲストに迎え、桂氏の語りと音楽隊の演奏のコラボレーションによるバレエ音楽「白鳥の湖」を披露
- 平成27年 第60回七夕まつりを記念して東京ディズニーリゾート・スペシャルパレードにマーチングバンドとして出演
第37回定期演奏会で神野三枝氏(ラジオパーソナリティー)をゲストに迎え、神野氏の多彩なトークと音楽隊とのコラボレーションにより幅広い年代層に愛されている「映画音楽」を披露
- 平成28年 第38回定期演奏会で青島広志氏(作曲家)をゲストに迎え、日本の吹奏楽にスポットをあて、吹奏楽オリジナル作品を披露
- 平成29年 第39回定期演奏会で石川直氏(ルーディメンタルドラマー)をゲストに迎え、打楽器にスポットをあて、打楽器の躍動感やリズムを様々な音楽に乗せて披露
- 平成30年 第40回定期演奏会で林望氏(作家)と矢野きよ実氏(パーソナリティ・書家)をゲストに迎え、イギリス諸国を代表する作曲家の作品を中心に、音楽を時代考証しながら披露
- 令和元年 第41回定期演奏会で立浪一義氏(中日ドラゴンズOB)をゲストに迎え、高校野球の応援歌を中心に演奏を披露
- 令和 2年 第42回定期演奏会で石丸幹二氏(俳優)をゲストに迎え、「ミュージカルの世界」をテーマに演奏を披露
- 令和 3年 第43回定期演奏会で浅田舞氏(プロフィギュアスケーター)をゲストに迎え、「フィギュアスケートの世界へ」をテーマに演奏を披露

消防音楽隊の編成

令和4年4月1日現在

隊 長	消防長 後藤 誠二		
副 隊 長	石田 正		
常任指揮者	塚田 隆雄		
フルート・ピッコロ	3	バリトンサキソフォン	1
オーボエ	1	トランペット	4
E♭ クラリネット	1	ホルン	4
クラリネット	6	ユーフォニウム	1
アルトクラリネット	1	トロンボーン	4
バスクラリネット	1	チューバ	2
アルトサキソフォン	2	ティンパニー・パーカッション	4
テナーサキソフォン	1	計	36

消防音楽隊の活動状況

令和3年度中

区 分	合 計	内 容				練 習
		演 奏				
		部 内	市関係	その他	計	
4 月	8			1	1	7
5 月	5				0	5
6 月	6		3		3	3
7 月	4		3		3	1
8 月	2				0	2
9 月	5				0	5
10 月	9				0	9
11 月	11	3			3	8
12 月	6		2	1	3	3
1 月	2				0	2
2 月	1				0	1
3 月	9				0	9
合 計	68	3	8	2	13	55

総務



当初予算の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
一般会計		113,220,000	113,430,000	115,970,000	120,290,000	122,160,000
消 防 費		4,263,243	4,049,916	4,080,905	3,979,486	4,104,305
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	3,754,638	3,571,454	3,702,484	3,618,035	3,592,218
	非 常 備 消 防 費	107,184	105,313	106,717	106,267	111,962
	消 防 施 設 費	394,505	366,231	264,340	248,825	393,770
	水 防 費	6,916	6,918	7,364	6,359	6,355

決算額と構成の推移

(単位 千円)

科目		年度				
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一般会計		113,521,211	113,679,172	115,202,350	115,195,501	158,299,264
消 防 費		3,877,787	3,718,491	4,228,143	4,030,706	3,947,622
消 防 費 内 訳	常 備 消 防 費	3,329,857	3,410,996	3,734,223	3,559,082	3,610,989
	非 常 備 消 防 費	118,969	111,611	103,626	104,050	87,925
	消 防 施 設 費	419,336	186,285	383,378	360,656	242,213
	水 防 費	9,625	9,600	6,916	6,918	6,495
消防費の構成比		3.4%	3.3%	3.7%	3.5%	2.5%
人口一人当たりの 消防費(円)		10,044	9,631	10,960	10,465	10,259
1世帯当たりの 消防費(円)		25,068	23,731	26,670	25,125	24,285

消防職員の配置

令和4年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
合 計		404	1	2	15	28	77	191	29	61	
消 防 本 部	消 防 長	1	1								
	消 防 次 長	1		1							
	消 防 次 長 兼 一 宮 消 防 署 長	1		1							
	総 務 課	課 長	1			1					
		専 任 課 長	1				1				
		総 務 課 付	5					2	3		
		庶 務 担 当	3					1	2		
		人 事 教 養 担 当	3					1	2		
		消 防 団 担 当	5					1	3	1	
		課 長	1			1					
	予 防 課	専 任 課 長	1				1				
		予 防 担 当	3					1	2		
		指 導 担 当	3					1	2		
		危 険 物 担 当	3					1	2		
	消 防 救 急 課	査 察 担 当	3					1	2		
		課 長	1			1					
		専 任 課 長	1				1				
		消 防 担 当	3					1	2		
		施 設 装 備 担 当	3					1	2		
		救 急 救 助 担 当	4					1	2	1	
	通 信 指 令 課	本 部 救 急 隊	4						4		
		課 長	1			1					
		専 任 課 長	2				2				
		課 長 補 佐	1					1			
		第 1 課	7					2	5		
		第 2 課	7					2	4	1	
	一 宮 消 防 署	消 防 1 課 長	2			2					
消 防 2 課 長		2			2						
救 助 担 当 司 令		2				2					
指 揮 係		8					2	5	1		
警 防 1 係		16					2	6	1	7	
警 防 2 係 (特 別 消 防 隊)		10					2	7	1		
救 助 係 (高 度 救 助 隊)		12					2	10			
救 急 係		12					2	8	2		
担 当 司 令		2				2					
千 秋 課		浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	3	1	2
	浅 井 ・ 西 成 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	5	3		
	担 当 司 令	2				2					
千 秋 課	千 秋 消 防 出 張 所 警 防 係	8					2	4		2	
	千 秋 消 防 出 張 所 救 急 係	10					2	4	3	1	

令和4年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
一宮消防署	分署 長	1			1							
	担当 司令	2				2						
	警防係	12					2	7		3		
	救急係	12					2	6	2	2		
	第1(第2)課 大和	担当 司令	2				2					
		大和消防出張所 警防係	8					2	3	1	2	
		大和消防出張所 救急係	10					2	4	1	3	
	丹陽	担当 司令	2				2					
		丹陽消防出張所 警防係	8					2	3	1	2	
		丹陽消防出張所 救急係	10					2	4	1	3	
尾西消防署	署 長	1			1							
	管理グループ	3					1	1	1			
	消防1課 長	2			2							
	消防2課 長	2			2							
	指揮係	8					2	4		2		
	警防1係	16					2	5	1	8		
	警防2係(特別消防隊)	10					2	6		2		
	救急係	10					2	6		2		
	第1(第2)課 萩原	担当 司令	2				2					
		萩原消防出張所 警防係	8					2	4		2	
		萩原消防出張所 救急係	10					2	6		2	
		今伊勢・奥	担当 司令	2				2				
			今伊勢・奥消防出張所 警防係	8					2	4		2
今伊勢・奥消防出張所 救急係	10						2	6	1	1		
木曾川消防署	署 長	1			1							
	管理グループ	3					1	1	1			
	担当 司令	2				2						
	救助担当 司令	2				2						
	警防係	12					2	4		6		
	救助係(特別救助隊)	12					2	8	2			
	救急係	10					2	7		1		
	第1(第2)課 葉栗	担当 司令	2				2					
		葉栗消防出張所 警防係	8					2	4		2	
		葉栗消防出張所 救急係	10					2	5	1	2	
北方		担当 司令	1				1					
	北方消防出張所 警防係	9					2	4	1	2		

※再任用短時間勤務職員(消防士長)8名を除く

消防職員の年齢

令和4年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	404	1	2	15	28	77	191	29	61
18歳から19歳	6								6
20歳以上24歳以下	40								40
25歳以上29歳以下	34							20	14
30歳以上34歳以下	33						25	7	1
35歳以上39歳以下	72						70	2	
40歳以上44歳以下	83					7	76		
45歳以上49歳以下	86				9	58	19		
50歳以上54歳以下	25			8	9	7	1		
55歳以上60歳以下	25	1	2	7	10	5			
平均年齢	39.3	59.0	57.5	54.6	52.8	47.4	39.4	29.1	22.9

※再任用短時間勤務職員(消防士長)8名を除く

消防職員の勤続年数

令和4年4月1日現在(単位 人)

区 分	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
合 計	404	1	2	15	28	77	191	29	61
1年未満から5年	64							5	59
6年から10年	35						13	20	2
11年から15年	74						70	4	
16年から20年	65					1	64		
21年から25年	58				4	26	28		
26年から30年	60			5	4	36	15		
31年から35年	21			2	9	9	1		
36年以上	27	1	2	8	11	5			
平均年数	18.1	40.0	39.5	34.3	33.2	27.5	17.3	7.6	1.8

※再任用短時間勤務職員(消防士長)8名を除く

消防職員資格等保有状況

令和4年4月1日現在(単位 人)

区 分		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
救 急 救 命 士		99	1		1	10	26	42	8	11
	薬 剤 投 与 救 急 救 命 士	78	1		1	9	19	40	6	2
	気 管 挿 管 救 急 救 命 士	19				4	6	9		
救急Ⅱ課程・救急標準課程修了者		281		2	14	18	51	149	21	26
大 型 一 種 自 動 車 免 許		329		2	15	25	73	180	19	15
中 型 一 種 自 動 車 免 許		50	1				5	15	14	15
自 動 車 士 免 許	デ ー ゼ ル	2 級	1					1		
		3 級	3				2	1		
	ガ ソ リ ン	2 級	3				2	1		
		3 級	4				2	2		
	シ ャ シ	3 級	4				3	1		
危 険 物 取 扱 免 状	甲 種	3					1	2		
	乙 種	第 4 類	60		1	4	14	36	5	
		第 6 類	15			2	3	9	1	
丙 種	16			1	2	9	2		2	
陸上特殊無線技士	第 2 級	243			4	2	23	150	25	39
	第 3 級	97	1	1	8	13	46	28		
消 防 設 備 士 免 状	甲 種	2					1	1		
	乙 種	17					6	9	2	
1・2級小型船舶操縦士免許		109		1	2	7	31	58	6	4
ガ ス 溶 接 技 能 講 習		21		1	2	3	7	7		1
有 機 溶 剤 作 業 主 任 者 技 能 講 習		18					7	10	1	
高 圧 ガ ス 製 造 保 安 責 任 者 免 状		5		1		3	1			
第 一 種 衛 生 管 理 者 免 許		18			1	4	11	2		
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能 講 習		4				2		2		
足 場 の 組 立 て 等 作 業 主 任 者 技 能 講 習		52		1	4	11	22	14		
小 型 移 動 式 ク レ ー ン 運 転 技 能 講 習		154	1	2	7	15	40	77	8	4
玉 掛 け 技 能 講 習		275		2	3	10	35	165	27	33
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者 技 能 講 習		39		2	4	14	14	4	1	
潜 水 士 免 許		100		1	3	6	29	51	4	6
予 防 技 術 資 格 者 (防 火 査 察 専 門 員)		16			3	1	5	7		
予 防 技 術 資 格 者 (消 防 設 備 等 専 門 員)		14			3	1	3	7		
予 防 技 術 資 格 者 (危 険 物 専 門 員)		11			3		4	4		
接 遇 研 修 指 導 者		4					4			
J K E T 研 修 指 導 者		2			2					

消防職員教育研修状況

令和3年度中

科 目	回数	受講者	日数	科 目	回数	受講者	日数
○派遣教育				○その他の教養			
県消防学校				全国消防長会東海支部消防長研修会	1	1	1
初任科(第112期)	1	7	171	安全運転管理者講習会	1	4	1
初任科(第113期)	1	7	173	副安全運転管理者講習会	1	1	1
救急科(第128期)	1	6	51	整備主任者技術研修会	1	1	1
救急科(第130期)	1	6	53	消防職員安全衛生研修会(東海支部)	1	2	1
中級幹部科(第70期)	1	3	9	心電図セミナー	1	4	1
予防査察科(第60期)	1	3	12	全国救急隊員シンポジウム(Web)	1	1	2
救助科(第49期)	1	3	28	全国救助シンポジウム(Web)	1	1	1
火災調査科(第61期)	1	1	12	外傷・災害対応講習(Bコース)	1	1	1
はしご自動車等運用科(第34期)	1	2	3	東京消防庁短期受託研修	1	1	2
地震防災科(第16期)	1	2	2	○資格取得・技能講習			
警防科(第70期)	1	4	16	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1	2	3
指揮隊科(第10期)	1	3	8	有機溶剤作業主任者技能講習	1	1	2
救急救命士養成				小型移動式クレーン運転技能講習	1	6	3
名古屋市救急救命研修所(8/25～3/14)	1	1	202	2級小型船舶操縦士試験	1	4	1
大阪市消防局高度専門教育訓練センター(9/1～3/14)	1	1	195	潜水士免許試験	1	2	1
救急救命士関係				予防技術検定	1	2	1
包括運用教育	1	4	1	○本部教養・所属教養			
薬剤投与プロトコール運用試験	1	3	1	消防大学校伝達教養(データ配信)	1		92
救急業務教育指導者試験	1	2	1				
処置範囲拡大運用試験	1	3	1				
コ・メディカルセミナー(Webオンデマンド配信)	1	4	7				
日本救急医学会中部地方会(Web)	1	1	1				
日本臨床救急医学会(Web)	1	1	3				
日本災害医学会学術集会	1	1	3				

災害防止

平成2年9月労働安全衛生法の規定に基づき、一宮市職員安全衛生管理規程が定められ、消防本部の安全衛生管理体制も強化され、災害の防止に取り組んでいます。

〈安全衛生管理体制〉

令和4年4月1日現在

区 分	総 括 安全衛生 管理 者	副安全衛 生管理 者	衛 生 者 管 理 者	委 員	産 業 医	安全衛生 推 進 者
人 員	1	2	2	6	2	12

安全管理

最近の公務災害は、3年間で5件発生しています。

〈過去3年間の災害種別公務災害発生状況〉

(単位 件)

区 分	合 計	消防訓練中	消火活動中	救急活動中	救助活動中	その他
合 計	5	3	0		1	1
令和元年中	3	1			1	1
令和2年中	1	1				
令和3年中	1	1				

消防協力者表彰

火災その他の災害現場において早期発見、消火・救助等の協力及び消防施設の強化充実、保全等消防に対して著しく功労があった方に市長感謝状として贈るものです。

令和3年中

表彰種別	合 計	火 災	救 助	救 急	その他
表彰件数	6	3	2	1	
表彰人員	12	6	3	3	

施設・装備充実事業



《本署 2号車 更新》

水槽付消防ポンプ自動車

- 1,500リットルの水槽及びC A F S（圧縮空気泡消火装置）を装備し、消防用資機材、A E Dを含む呼吸管理資機材を積載



《今伊勢・奥救急1号車 更新》

高規格救急自動車

- 高度救命処置用資機材及び応急処置資機材を積載



《真清南分団車両 更新》

小型動力ポンプ付積載車

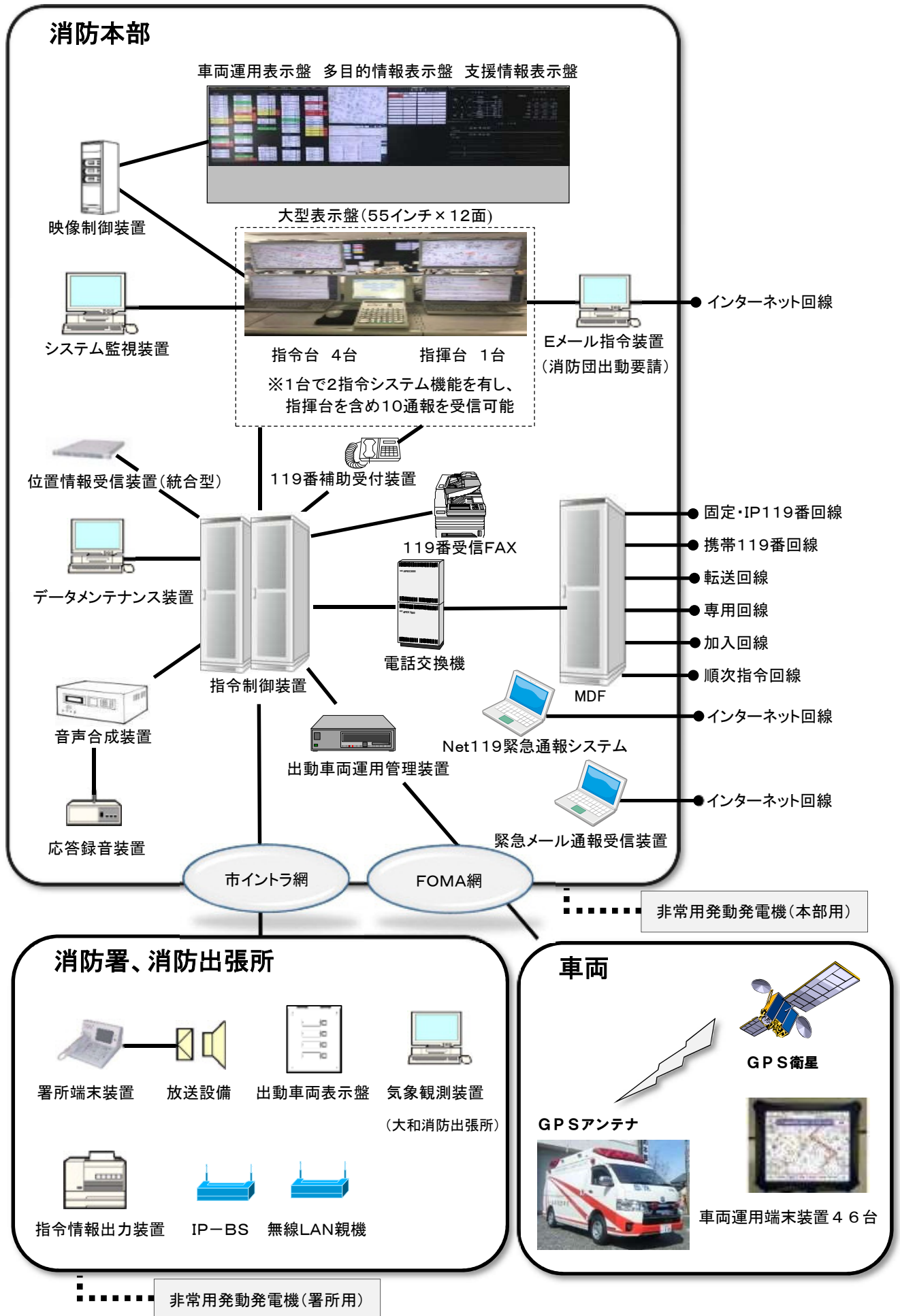
- ポンプ車から小型動力ポンプ付積載車に変更され、救助資機材を積載



通 信

气 象

指令システム構成図



無線設備

消防救急無線(260MHz帯)

令和4年4月1日現在

種別	出力	実装チャンネル数	局数
基地局	10W	統制波 3 主運用波 1 活動波 6	1
移動局	車載型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	61
	携帯型	5W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	75
	可搬型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	4
	卓上型	10W 統制波 3 主運用波 7 活動波 5	1
			141

署活動系無線(400MHz帯)

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	1W	署活動波 2 防災相互波 1	30

特定小電力ランシーバー

種別	出力	実装チャンネル数	局数
携帯型	0.01W	47	170

指令回線等一覧表

指令システム

令和4年4月1日現在

項目	名称	回線数	内 訳
1	119番回線(固定電話用)	6	・12ch
2	119番回線(携帯電話用)	4	・8ch
3	指令回線	12	<ul style="list-style-type: none"> ・署所端末装置指令回線:12 （ 一宮消防署本署 尾西消防署 浅井・西成消防出張所 萩原消防出張所 千秋消防出張所 今伊勢・奥消防出張所 一宮消防署分署 木曾川消防署 大和消防出張所 葉栗消防出張所 丹陽消防出張所 北方消防出張所
4	内線回線	6	・PBX内線収容
5	専用回線	4	<ul style="list-style-type: none"> ・中部電力 ・東邦ガス ・中日本高速道路 ・名古屋高速道路
6	転送回線(ISDN)	2	・4ch
7	加入電話(ISDN)	2	・4ch
8	庁内放送回線	1	・庁内放送用
9	音声合成回線	18	<ul style="list-style-type: none"> ・指令用、無線用(兼用):9 ・順次指令用:8 ・災害テレホンサービス用:1

電話回線

項目	名称	回線数	内 訳
1	加入回線(ISDN)	1	・2ch(障害時用)
2	加入回線(アナログ)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・FAX用:2 ・FAX兼119番迂回用:1 ・119番迂回用:1
3	携帯電話	42	<ul style="list-style-type: none"> ・救急隊:14、指揮隊:2、警防隊:18、救助隊:3 通信指令課:5
4	加入回線(NTTひかり)	1	・27ch、33番号

月別119番受信状況

令和3年中(単位 件)

種別	月													
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	21,729	1,809	1,684	1,821	1,677	1,746	1,742	1,988	1,833	1,686	1,880	1,853	2,010	
火災	210	13	16	49	7	23	33	13	10	13	8	15	10	
救急	15,833	1,396	1,185	1,253	1,239	1,230	1,224	1,485	1,344	1,235	1,369	1,372	1,501	
救助	168	15	16	16	11	8	19	10	14	6	14	14	25	
その他の災害	65	5	3	4	4	4	4	5	6	6	6	5	13	
いたづら	47	1	8	10	3	1	4	2	4	5	6	1	2	
間違い	1,908	139	171	162	147	160	135	194	164	143	169	145	179	
問合せ	906	83	92	91	58	69	73	80	88	73	68	61	70	
病院内 問合せ	263	22	15	13	23	25	33	22	27	26	20	21	16	
訓練通報	403	14	21	56	39	21	41	16	20	33	47	52	43	
試験通報	1,432	99	141	140	118	134	122	106	100	105	130	129	108	
その他	254	10		8	12	49	24	34	31	20	22	17	27	
転送	240	12	16	19	16	22	30	21	25	21	21	21	16	

携帯電話からの月別119番受信状況

令和3年中(単位 件)

種 別	月													
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合 計	10,906	829	854	872	801	931	904	1,053	956	873	923	899	1,011	
火 災	134	4	9	30	4	21	23	9	4	8	7	9	6	
救 急	7,920	639	584	584	609	651	638	777	687	634	693	674	750	
救 助	130	14	13	10	8	7	12	10	13	5	8	13	17	
その他の 災 害	50	2	3	4	2	4	4	4	6	3	6	4	8	
いたずら	27		7	8			2	1	2	2	3	1	1	
間 違 い	1,369	85	133	129	95	123	98	142	101	108	116	108	131	
問 合 せ	612	51	72	65	35	45	54	51	59	56	36	35	53	
病 院 へ 問 合 せ	178	11	12	7	18	15	21	17	22	19	13	14	9	
訓 練 通 報	61	3	3	5	7	4	7	2	3	3	6	9	9	
試 験 通 報	49	1	3	8	3	3	5	2	15	3	5	1		
そ の 他	153	7		3	7	36	13	20	22	12	11	10	12	
転 送	223	12	15	19	13	22	27	18	22	20	19	21	15	

月別気象状況

令和3年中

区分	気温(℃)			風速(m/s)		相対湿度(%)		実効湿度(%)		降水量(mm)
	最低	最高	平均	最大瞬間	平均	最小	平均	最小	平均	
1月	-3.5	14.9	4.5	16.4	1.4	30.2	69.6	53.0	69.7	68.5
2月	-2.5	20.6	6.9	29.2	1.6	7.5	62.5	46.2	64.3	47.0
3月	2.5	24.3	11.4	25.5	2.0	17.2	65.6	51.4	64.3	188.0
4月	3.4	26.9	14.8	17.5	2.0	15.8	61.2	49.5	60.5	200.0
5月	8.8	31.0	19.1	15.6	1.4	19.9	70.7	60.9	71.1	213.5
6月	16.3	33.3	23.9	13.0	1.5	23.8	69.8	57.0	68.6	147.0
7月	21.4	37.1	27.8	13.3	1.1	36.9	76.5	64.7	76.7	178.0
8月	21.9	37.2	27.7	18.2	1.5	31.6	77.9	66.6	78.0	323.5
9月	17.2	31.9	23.9	13.8	1.0	35.0	79.3	67.9	78.4	228.5
10月	7.1	31.3	19.6	14.8	1.3	26.6	68.5	59.0	69.0	70.0
11月	0.7	24.7	12.5	13.4	1.1	32.7	67.1	61.8	66.7	68.0
12月	-1.1	17.1	6.8	27.5	1.4	29.9	74.8	67.1	73.8	102.5
年間	-3.5	37.2	16.6	29.2	1.4	7.5	70.3	46.2	70.1	1,834.5

(観測地:大和消防出張所)

一宮市の警報・注意報発表基準

発表官署 名古屋地方気象台 令和2年8月6日現在

警報の種類	基準	
大雨	(浸水害)	表面雨量指数基準 23
	(土砂災害)	土壌雨量指数基準 ー
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=19.6、青木川流域=11.3、大江用水流域=10 光堂川流域=6.4、野府川流域=6.1
	複合基準※	五条川流域=(11,19.3)、青木川流域=(17,7.6)、大江用水流域=(21,5.7) 野府川流域=(11,5.4)、日光川流域=(17,14.5)
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱・古瀬〕
暴風	平均風速	20m/s
暴風雪	平均風速	20m/s 雪を伴う
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ10cm

注意報の種類	基準	
大雨	表面雨量指数基準	13
	土壌雨量指数基準	127
洪水	流域雨量指数基準	五条川流域=12.9、青木川流域=5.9、大江用水流域=8 光堂川流域=5.1、野府川流域=4.8
	複合基準※	五条川流域=(11,12.5)、青木川流域=(11,5.7)、大江用水流域=(7,5.1) 光堂川流域=(9,2.8)、野府川流域=(7,3.6)、木曾川流域=(11,7.5)、日光川流域=(7,9)
	指定河川洪水予報による基準	木曾川中流〔犬山・笠松〕、愛知県日光川水系 日光川〔戸茱〕
強風	平均風速	13m/s
風雪	平均風速	13m/s 雪を伴う
大雪	降雪の深さ	12時間降雪の深さ5cm
雷	落雷等により被害が予想される場合	
濃霧	視程	100m
乾燥	最小湿度30%で、実効湿度60%	
低温	冬期:最低気温-4℃以下	
霜	晩霜期に最低気温3℃以下	
着氷・着雪	著しい着氷(着雪)が予想される場合	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	100mm

※(表面雨量指数,流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表しています。

消 防 団



消防団の現況

消防団は郷土愛護の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には、市民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報、防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割を果たしています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災を機に、大規模災害発生時の消防力の強化が極めて重要な課題となっております。本市においても、平成24年4月1日から大規模災害及び昼間帯の建物火災のみに出動する支援団員制度を導入しました。

令和3年度中における主な活動は、火災出動延べ178回、1,063人、訓練出動延べ1,542回、10,572人でその他、観閲式、警戒警備等に出動し活躍しています。

このように地域防災の中核として広域な活動を任務とする消防団員に対して本市では、災害補償制度、退職報償金制度等の充実を図り、また、教育訓練の充実、若手リーダーの育成等に努めています。

消防団及び消防団員の状況

令和4年4月1日現在

団 数	分 団 数	定 数	消 防 団 員 現 員 数							
			合 計	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 (支 援 団 員)
1	25	605(100)	503(52)	1	4	25	25	25	25	398 (52)

※()内は支援団員数で内数で記載

消防団の活動状況

令和3年度中

区 分	合 計	火 災	訓 練	式 典	警 戒 警 備	水 難 捜 索	風 水 害	点 検
延 出 動 回 数	2,042	178	1,542	26	60			236
延 出 動 人 員	13,042	1,063	10,572	175	777			455

団員報酬額

年額報酬

令和4年4月1日現在

階級	基本団員							支援団員
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	団員
金額(円)	125,000	104,500	72,500	54,000	42,000	40,500	39,000	10,000

出動報酬

令和4年4月1日現在

出動区分	災害出動		訓練等 出動	観 閲 出動	出初め 出動	警 戒 出動	年末警戒 出動	機械点検 出動
	4時間までの出動	4時間を超える出動						
金額(円)	4,000	8時間までごとに8,000	1,700	2,600	2,600	2,200	2,600	2,000

費用弁償

令和4年4月1日現在

出動区分	災害出動 出動	訓練等 出動	観 閲 出動	出初め 出動	警 戒 出動	年末警戒 出動	機械点検 出動
金額(円)	200						

消防団員の退職状況

令和3年度中(単位 人)

退職 団員数	5年 未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年 以上
38	14	9	7	2	3	1	2

消防団員の新任状況

令和3年度中(単位 人)

新任 団員数	21歳 未満	21歳以上 25歳以下	26歳以上 30歳以下	31歳以上 35歳以下	36歳以上 40歳以下	41歳以上 45歳以下	46歳以上 50歳以下	51歳 以上
32	12		1	5	2	3	5	4

消防団員の職業構成と就業形態

令和4年4月1日現在(単位 人)

職 業 構 成	公 務 員 等	国 家 公 務 員	
		地 方 公 務 員	10
		特殊法人等公務員に準ずる職員	20
	そ の 他	473	
合 計			503
就 業 形 態	被 雇 用 者		293
	自 営 業 者		114
	家 族 従 事 者		11
	そ の 他		85

消防団員の年齢

令和4年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (支援団員含む)
合計	503	1	4	25	25	25	25	398
20歳未満	7							7
20歳以上 24歳以下	26						1	25
25歳以上 29歳以下	10						1	9
30歳以上 34歳以下	20							20
35歳以上 39歳以下	26				3	1	1	21
40歳以上 44歳以下	52				1	5	6	40
45歳以上 49歳以下	99			4	5	6	6	78
50歳以上 54歳以下	96		2	3	6	5	8	72
55歳以上 59歳以下	63		1	8	4	6	2	42
60歳以上 64歳以下	48	1	1	6	2	2		36
65歳以上	56			4	4			48
平均年齢	49.3	64.0	56.8	58.0	53.7	50.1	45.9	48.6

消防団員の勤続年数

令和4年4月1日現在(単位 人)

区分	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員 (支援団員含む)
合計	503	1	4	25	25	25	25	398
5年未満	106				1	1	5	99
5年以上10年未満	85			1	3	8	6	67
10年以上15年未満	75			2	4	4	3	62
15年以上20年未満	73		1	7	4	6	9	46
20年以上25年未満	71		2	6	7	3	2	51
25年以上30年未満	34		1	4	3	3		23
30年以上35年未満	33			2	3			28
35年以上40年未満	15	1		3				11
40年以上45年未満	6							6
45年以上	5							5
平均年数	14.9	38.0	21.8	22.6	18.9	14.6	11.4	14.3

予 防



火災予防普及活動状況

火災発生防止と火災発生時の早期通報、初期消火、避難誘導等一連の初期消火活動が行われるためには、市民一人ひとりの火災予防に対する理解と認識が必要です。そこで市民の火災予防に対する認識を深めるために、春秋の火災予防運動を中心に市広報誌等に火災予防記事の掲載、また、事業所等の消防訓練時に防火管理体制の確立等幅広い広報活動を展開しています。

(上段:実施回数)
令和3年度中 (下段:参加人員)

区 分	市 広 報 掲 載	消 防 訓 練	研 講	修 演	会 会	甲 種 防 火 管 理 新 規 講 習	再 講 習
合 計	24	1,030 43,783			4 114	3	80
4 月	2	61 2,037					
5 月	1	75 1,948					
6 月	3	87 3,150					
7 月	2	48 1,589			1 24		
8 月	2	46 1,661					
9 月	1	107 7,448					
10 月	1	121 5,385			1 30		
11 月	4	139 5,741				新規講習	2 57
12 月	3	92 5,461					
1 月	3	45 2,527			1 20		
2 月	1	81 2,410				再講習	1 23
3 月	1	128 4,426			1 40		

幼年・少年・婦人消防クラブの現況

令和4年4月1日現在

幼 年 消 防 ク ラ ブ		少 年 消 防 ク ラ ブ		婦 人 消 防 ク ラ ブ	
ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数
86	8,769	42	6,878	8	305

街頭消火器設置状況

令和4年4月1日現在(単位 本)

連 区	設 置 本 数	連 区	設 置 本 数
宮 西	314	今 伊 勢 町	593
貴 船	286	奥 町	350
神 山	415	菽 原 町	495
大 志	239	千 秋 町	455
向 山	263	起	109
富 士	298	小 信 中 島	240
葉 栗	421	三 条	296
西 成	812	大 徳	268
丹 陽 町	608	朝 日	382
浅 井 町	510	開 明	226
北 方 町	253	木 曾 川 町	876
大 和 町	937	合 計	9,646



1.安全栓を抜く



2.ホースを火元に向ける
(ホースの先端を持つ)



3.レバーを強く握り
放射します

街頭消火器火災使用状況

令和3年度中

区 分	合 計		建物火災		車両火災		その他の火災	
	件数	本数	件数	本数	件数	本数	件数	本数
合 計	5	5	2	2	3	3	0	0
4 月	0	0						
5 月	1	1			1	1		
6 月	0	0						
7 月	0	0						
8 月	2	2	1	1	1	1		
9 月	0	0						
10 月	0	0						
11 月	0	0						
12 月	1	1			1	1		
1 月	0	0						
2 月	0	0						
3 月	1	1	1	1				



査察対象物数

令和4年4月1日現在

防火対象物		査察種別	1 種	2 種	3 種	合 計	特定防火対象物	非特定防火対象物
合 計			1,379	1,801	1,763	4,943	2,230	2,713
1	イ	映画館・観覧場等	5			5	5	
	ロ	公会堂・集会場	90		82	172	172	
2	イ	キャバレー・カフェ等	1		4	5	5	
	ロ	遊技場・ダンスホール	18			18	18	
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	1		8	9	9	
	ニ	カラオケボックス等	12			12	12	
3	イ	待合・料理店	4			4	4	
	ロ	飲食店	63		240	303	303	
4		百貨店・マーケット	233		242	475	475	
5	イ	旅館・ホテル	24			24	24	
	ロ	寄宿舎・共同住宅		834	368	1,202		1,202
6	イ	病院・診療所	97		75	172	172	
	ロ	老人短期入所施設等	172			172	172	
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	178		119	297	297	
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	24		2	26	26	
7		小・中・高・大学校等	17	62	8	87		87
8		図書館等		6		6		6
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場						
	ロ	公衆浴場		4	2	6		6
10		車両停車場・船舶・航空機発着場						
11		神社・寺院・教会		10	46	56		56
12	イ	工場・作業場	35	422	58	515		515
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	9		14		14
14		倉庫	45	228	21	294		294
15		官公署・事務所等	13	160	198	371		371
16	イ	特定複合用途防火対象物	339		197	536	536	
	ロ	特定以外の複合用途防火対象物	3	63	93	159		159
17		文化財建造物		3		3		3
18		アーケード						

備考

- 1種: 定期点検報告を必要とする、又は消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする特定防火対象物並びに5項ロを除く延べ面積5,000平方メートル以上の非特定防火対象物
- 2種: 消火設備(消火器を除く)の設置を必要とする、又は自動火災報知設備の設置を必要とする非特定防火対象物(第1種を除く)
- 3種: 消防法第8条第1項に定める防火管理者を必要とする防火対象物(上記防火対象物を除く)

中高層建築物数

令和4年4月1日現在

区 分	合 計	3 階	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階	12 階	13 階	14 階	15 階	18 階	20 階	21 階
合 計	3,694	2,061	771	323	146	91	109	44	57	32	17	18	11	11	1	1	1
宮 西	269	125	56	25	14	14	13	5	4	5	1		4	3			
貴 船	192	103	37	14	9	6	8	2	7	3	1	1		1			
神 山	436	189	102	21	30	17	24	20	15	4	1	7	3	3			
大 志	303	159	64	37	14	2	7	1	4		3	4	2	3	1	1	1
向 山	121	68	30	6	4	3	6	1	2	1							
富 士	132	75	24	16	5	4	3		3	1		1					
葉 栗	62	32	20	7		3											
西 成	211	131	44	20	4	3	5	2	2								
丹 陽 町	373	231	86	25	15	2	4	4	2	3	1						
浅 井 町	72	40	13	8	2	2	2	4		1							
北 方 町	31	16	6	3		2	3	1									
大 和 町	411	219	84	45	22	20	12	1	5	2	1						
今伊勢町	182	115	26	11	8	4	3	2	3	4	4	1	1				
奥 町	88	61	13	5	2	1	3		2	1							
萩原町	83	49	15	7	2	3	4		1	2							
千 秋 町	78	49	22	7													
起	23	17	2	1		1	1						1				
小信中島	81	50	9	11	2	2	1		4	1	1						
三 条	125	74	20	17	5	1	3				2	3					
大 徳	67	29	21	10	3		1	1		1	1						
朝 日	44	21	17	5	1												
開 明	68	51	11	3	1				1	1							
木曾川町	242	157	49	19	3	1	6		2	2	1	1		1			

各種届出件数

令和3年度中

区 分	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	540	96	41	111	29	33	32	37	33	30	50	20	28
防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	629	132	67	116	33	32	31	29	39	34	64	22	30
全 体 に つ い て の 消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	3	1		1				1					
統 括 防 火 ・ 防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	2	1		1									
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	127	8	5	12	15	13	11	14	15	11	10	5	8
防 災 管 理 点 検 結 果 報 告 書	10	4		1				3		1	1		
管 理 権 原 者 変 更 届	2					2							
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	7		1		2			3	1				
ボ イ ラ ー 等 設 置 届	28	1	3	2	1	1	1	3	2	4	9		1
変 電 設 備 設 置 届	31	2	2	4	2	2	2	5	7	2	1	2	
燃 料 電 池 発 電 設 備 設 置 届													
発 電 設 備 設 置 届	9	1			1	1	2		1		1	1	1
蓄 電 池 設 備 設 置 届	14		2	1		2	1		4		1	2	1
ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	1								1				
火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 ・ た き 火 届	214	3	1	5	2	3	7	24	60	73	24	10	2
煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	4				3			1					
溶 接 ・ 溶 断 作 業 届	82	5	14	8	16	4	5	10	4	3	6	4	3
催 物 開 催 届	12	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1
水 道 断 ・ 減 水 届													
道 路 工 事 届	3,087	255	184	295	235	228	268	312	338	271	193	216	292
露 店 等 の 開 設 届	58			3	6	2	5	10	8	10	7	1	6
圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 開 始 届	98		6	15	7	5	14	9	4	8	13	15	2
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	13		1		1	1	2	1	1	1	4		1
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	6						1	1	1		2		1
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	4				1		2				1		
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 廃 止 届	1				1								
消 防 用 設 備 等 設 置 届	341	21	25	20	30	26	37	34	18	30	20	39	41
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	3,990	530	340	377	229	237	289	414	320	292	237	353	372
消 防 用 設 備 等 着 工 届	316	22	17	20	41	25	36	6	30	31	28	25	35
避 難 ・ 警 報 設 備 着 工 届	185	11	11	11	17	14	22	8	18	20	10	21	22
消 防 用 設 備 等 の 特 例 適 用 願	22	3	3	2	1	2	1	2	2	1	3	1	1
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	207	16	19	8	20	21	9	21	14	15	11	19	34
喫 煙 等 の 禁 止 解 除 申 請	73	32	12	1	1		4	2	4	4	1	1	11
指 定 洞 道 等 届													
消 防 訓 練 実 施 届	1,085	91	67	94	46	77	127	111	133	78	56	82	123
防 火 防 災 訓 練 実 施 届	22	4	1	5	2		1	6	1	1	1		

用途別同意建築物数

令和3年度中

防 火 対 象 物		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合 計		521	25	73	47	37	55	45	36	45	40	38	35	45
1	イ 映画館・観覧場等													
	ロ 公会堂・集会場	5						1		1		1	2	
2	イ キャバレー・カフェー等													
	ロ 遊技場・ダンスホール													
	ハ 性風俗関連特殊 営 業 店 舗 等													
	ニ カラオケボックス等													
3	イ 待 合 ・ 料 理 店													
	ロ 飲 食 店	8		1			1	1	1	2			2	
4	百貨店・マーケット	24	1	3	2		3	3	3	2	1	3	1	2
5	イ 旅 館 ・ ホ テ ル													
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 等	22	1	1	3	3	1	1	2	2	1	1	4	2
6	イ 病 院 ・ 診 療 所 等	10	3		1					2	1			3
	ロ 特 定 社 会 福 祉 施 設 等	16		1	1		1	2	1	2	6	2		
	ハ 社 会 福 祉 施 設 ・ 保 育 園 等	23	1	3	1	1	3	2	2	3	2	1	1	3
	ニ 幼 稚 園 ・ 特 別 支 援 学 校													
7	小・中・高・大学校等	1												1
8	図 書 館 等													
9	イ 蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場													
	ロ 公 衆 浴 場													
10	車 両 の 停 車 場 等													
11	神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	6	1				1	1				2	1	
12	イ 工 場 ・ 作 業 場	22		1	4	1	2	1	3	4	1		4	1
13	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	24	1	3	1	3	1	3	2	2	5		3	
14	倉 庫	42	4	5	3	3	4	2	3	6	3	6	2	1
15	官 公 署 ・ 事 務 所 等	89	3	39	8	4	9	1	3	4	4	4	2	8
16	イ 特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	8		2		1	1				1	1	1	1
	ロ 特 定 以 外 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	11	1	2	1		1	1		1	1		1	2
専 用 住 宅		210	9	12	22	21	27	26	16	14	14	17	11	21

危険物施設数

令和4年4月1日現在

区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
合計	408	3	256	57	37	27	83		48	4	149	110	37	38	1
宮西	9		4	2			2				5	2		2	1
貴船	5		2				2				3	3	2		
神山	18		15	1	3	1	2		8		3	1		2	
大志	3		2				2				1			1	
向山	13		9	1			3		4	1	4	3	1	1	
富士	7		3	1			2				4	3	1	1	
葉栗	10		5		1		3			1	5	5	2		
西成	46		33	2	8		5		18		13	12	4	1	
丹陽町	38		23	7	1	1	10		4		15	12	5	3	
浅井町	15		9	2	1	2	4				6	3	2	3	
北方町	20	3	12	1	3		7			1	5	2		3	
大和町	29		15	3		2	9			1	14	10	5	4	
今伊勢町	9		7	3	1	2	1				2	1	1	1	
奥町	14		11	2		4	5				3	2	1	1	
萩原町	29		14	5	1	1	2		5		15	14	1	1	
千秋町	15		6	1		2	3				9	9	3		
起	2		1			1					1	1			
小信中島	4		3	1	1	1					1	1	1		
三条	9		3	1			2				6	5	3	1	
大徳	5		5			1	3		1						
朝日	57		41	16	10	3	9		3		16	5		11	
開明	18		15	5		4	5		1		3	2	1	1	
木曾川町	33		18	3	7	2	2		4		15	14	4	1	

指定数量の倍数・類別危険物施設数

令和4年4月1日現在

区分	合計	製造所計	貯蔵所								取扱所					
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所	
許可施設数	408	3	256	57	37	27	83		48	4	149	110	37	38	1	
倍数別	5倍以下	133		119	25	8	18	34		33	1	14			13	1
	5倍を超え 10倍以下	83	1	62	17	10	9	23		3	20	5		15		
	10倍を超え 50倍以下	104	1	54	13	17		20		4	49	41		8		
	50倍を超え 100倍以下	22	1	18	2	1		4		11		3	2		1	
	100倍を超え 150倍以下	5		1				1				4	4			
	150倍を超え 200倍以下	15		1		1						14	14	1		
	200倍を超え 1,000倍以下	46		1				1				45	44	36	1	
	1,000を超え 5,000倍以下															
	5,000倍を超え 10,000倍以下															
	10,000倍を超えるもの															
類別	第1類															
	第2類															
	第3類															
	第4類	405	3	253	54	37	27	83		48	4	149	110	37	38	1
	第5類	1		1	1											
	第6類															
	混在	2		2	2											

危険物施設の設置・変更許可等

令和3年度中

区分	合計	貯蔵所							取扱所					
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	セルフ給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所
許可	7	5	1			2		2	2	2	1	1	1	
変更	43	7	1	1	1	1		3	36	17	9	19		
仮使用承認	35	3		1	1	1			32	14	9	18		
完成検査	6	4	1			2		1	2	1	1	1		
変更	40	6		1	1	1		3	34	17	9	17		
仮貯蔵・仮取扱承認	7													

タンク検査状況

令和3年度中

検査区分	容量	件数	小計	合計
水張検査	1万リットル以下のタンク	3	3	9
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			
水圧検査	1万リットル以下のタンク	6	6	
	1万リットルを超え、5万リットル以下のタンク			
	5万リットルを超え、10万リットル以下のタンク			
	10万リットルを超えるタンク			

危険物施設届出等状況

令和3年度中

合計	予防規程制定・変更認可申請	譲渡引渡	品名・数量・倍数変更届	廃止届	変更届	事故発生届	休止・再開届	許可書等再交付申請	設置・変更取りやめ届	設置・変更許可申請取下書	保安監督者選任・解任届	資料提出書	火気使用届	軽微工事届	地下貯蔵タンク等に関する計画届
186	6	2	4	11	34	8	3	1			24	49		44	

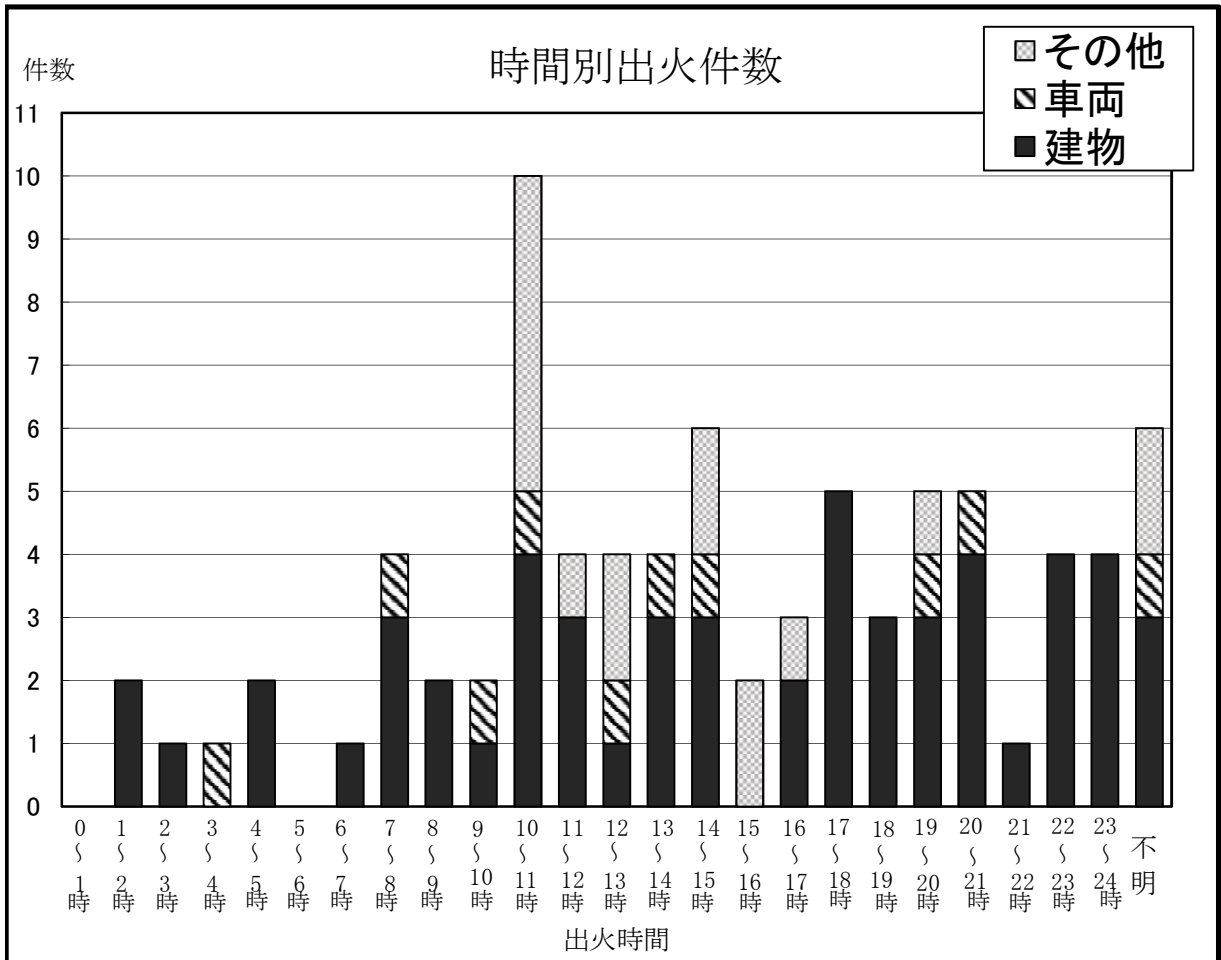
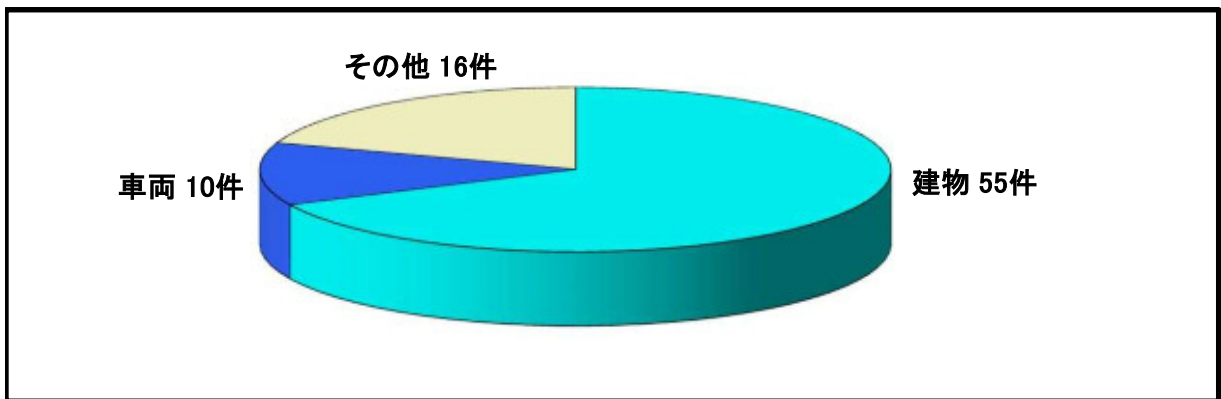
火災



火災の概況

令和3年中

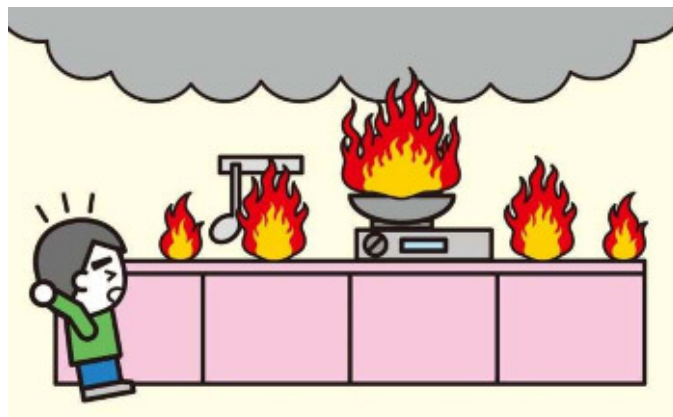
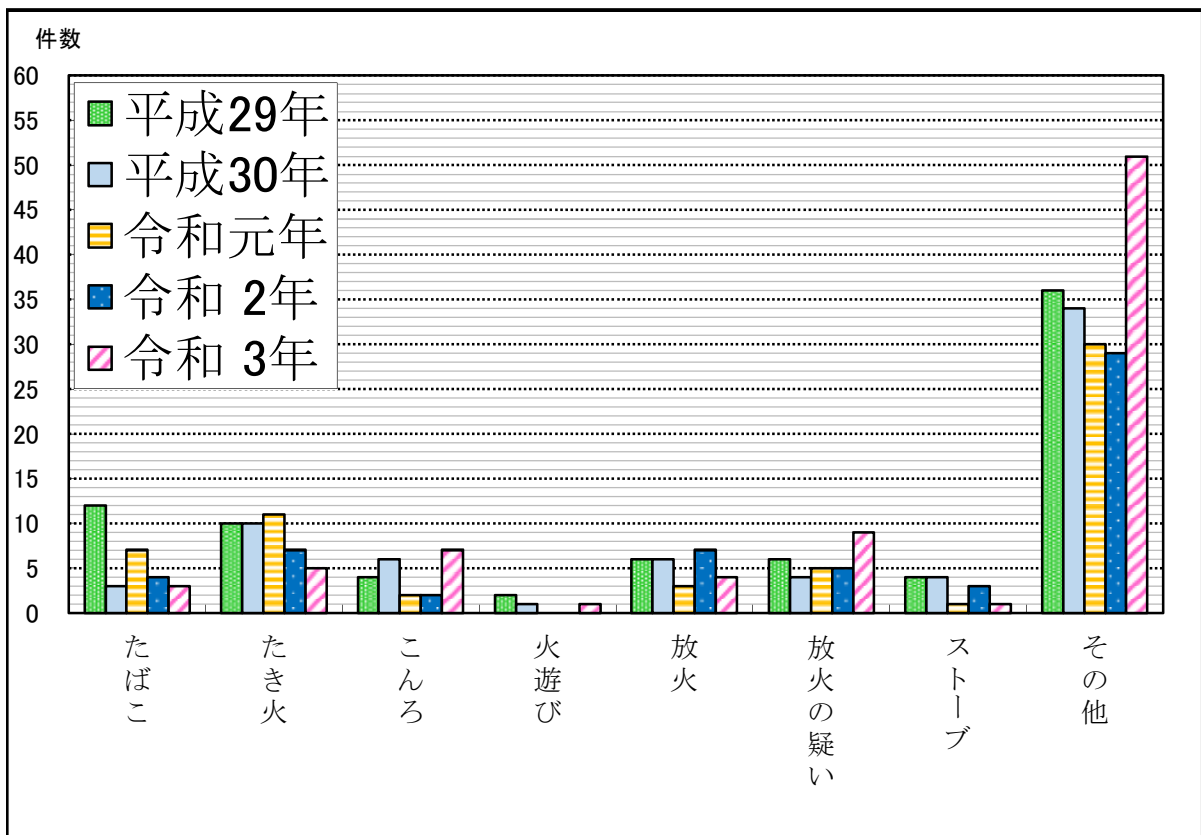
火災種別件数				焼損棟数 (棟)	り災 世帯数 (世帯)	死者 (人)	負傷者 (人)	建物焼損 床面積 (㎡)	建物焼損 表面積 (㎡)	その他 (㎡)	損害額 (千円)
合計	建物	車両	その他								
81	55	10	16	87	54	3	15	2,755	159	1,284	190,252



出火原因

(単位 件)

区分	合計	たばこ	たき火	こんろ	火遊び	放火	放火の疑い	ストーブ	その他
平成29年	80	12	10	4	2	6	6	4	36
平成30年	68	3	10	6	1	6	4	4	34
令和元年	59	7	11	2		3	5	1	30
令和 2年	57	4	7	2		7	5	3	29
令和 3年	81	3	5	7	1	4	9	1	51



建物用途別・原因別件数

令和3年中

区分	合計	住宅火災				店舗	工場・作業場	飲食店	その他
		計	一般住宅	共同住宅	併用住宅				
合計	55	33	26	6	1	1	4	3	14
たばこ	1	1	1						
たき火	1	1	1						
こんろ	7	5	2	2	1			2	
火遊び	1								1
放火	4	2	2						2
放火の疑い	4	4	4						
ストーブ	1	1	1						
電気機器	3	3	3						
配線器具	4	4	2	2					
電灯・電話等の配線	2	1	1						1
その他	15	4	3	1		1	3	1	6
不明	12	7	6	1			1		4

連区・月別の火災件数

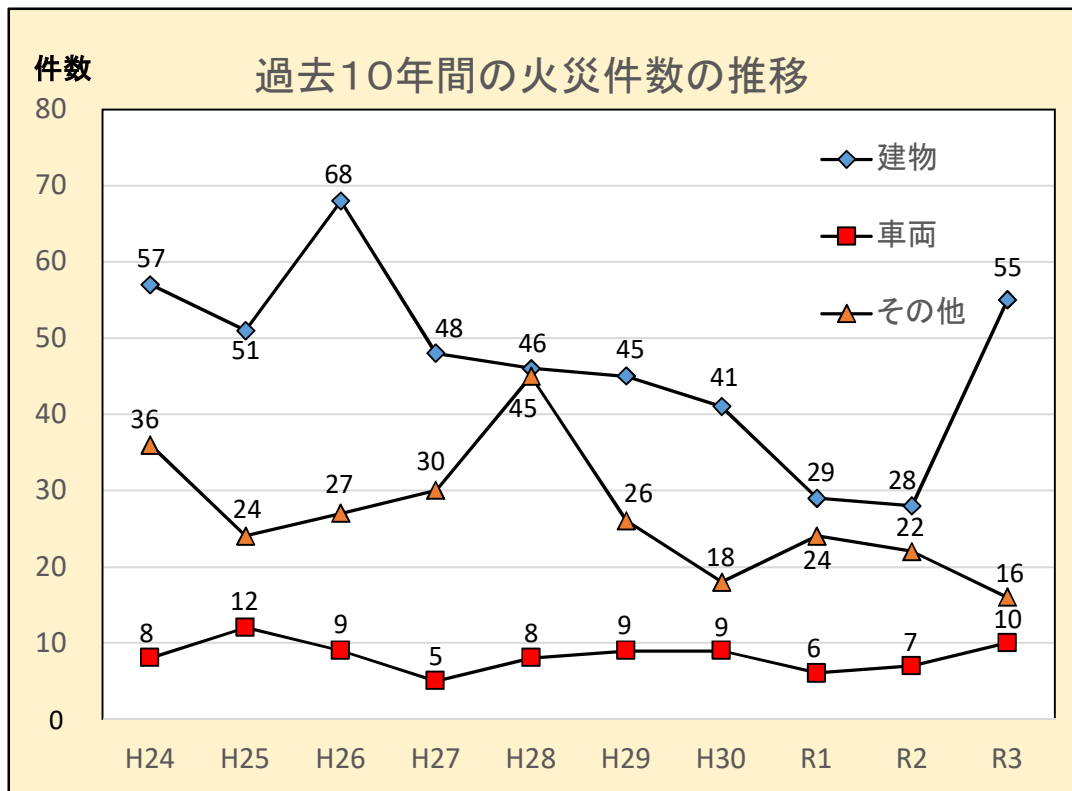
区 分	種 別 件 数					り 災 棟 数				り 災 世 帯			
	合 計	建 物		車 両	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損	り 災 人 員
		延 焼	不 延 焼										
合 計	81	11	44	10	16	15	6	28	38	9	4	41	140
宮 西	2		1		1			1				1	1
貴 船	3		3						3			2	5
神 山	2		2						2			2	4
大 志	1		1						1				
向 山													
富 士													
葉 栗	6		4		2			3	1			3	7
西 成	4	1	3			1			4	1		2	7
丹 陽 町	9		5	2	2		1	1	3			1	3
浅 井 町	4		1	2	1				1			1	3
北 方 町													
大 和 町	13	2	8	3		1	3	3	6	1	2	6	22
今 伊 勢 町	2	1	1			1		6	1	1		6	26
奥 町	2	1	1			3		4	1	1		4	14
萩 原 町	2	1			1	1		1		1		1	3
千 秋 町	5	1	1	1	2	2		2					
起													
小 信 中 島													
三 条	2		2			1			1				
大 徳	6	2	2		2	2	2	4	3	3	2	6	25
朝 日	3		2		1			1	1				
開 明	6	1	2	1	2	1		1	5	1		4	17
木 曾 川 町	9	1	5	1	2	2		1	5			2	3
1 月	5	1	3	1		1			4	1		2	8
2 月	10	1	6	1	2	2		7	4	1		10	34
3 月	9	3	4		2	5		5	6	2		6	22
4 月	5		3	1	1			1	2			2	5
5 月	10		7	1	2	1		4	2			3	6
6 月	7	3	3	1		4	1	4	5	1	1	6	22
7 月	5		3		2		1		2			2	2
8 月	4	1	2	1		1		2	4	1		4	17
9 月	7	1	3		3	1	1	2	2	3	1	2	10
10 月	7		4		3			2	2			1	3
11 月	6		3	2	1				3			1	3
12 月	6	1	3	2			3	1	2		2	2	8

死傷者		焼損面積(㎡)			損害額(千円)						火災一件当たりの損害額(千円)
死者	傷者	床面積	表面積	その他	合計	建物	収容物	車両	その他	爆発	
3	15	2,755	159	1,284	190,252	155,780	33,379	746	347		2,349
		2			301	300			1		151
					44		44				15
	2				25	2	23				13
					10		10				10
	3	10	9	208	1,574	1,485	89				262
		69			4,318	4,313	5				1,080
	1	56		191	17,084	1,881	15,116	87			1,898
	2			275	4			4			1
	2	326	4	291	6,938	6,193	579	154	12		534
	1	214	55		31,019	28,897	2,122				15,510
		1,044			20,593	16,069	4,464	60			10,297
1		76	11	4	1,310	1,000	310				655
		231	3	176	12,774	8,481	3,928	135	230		2,555
		86			1,760	1,749	11				880
2		283	66		54,868	52,201	2,558	105	4		9,145
		15		128	2,476	422	2,054				825
	1	112	7		16,037	14,197	1,639	201			2,673
	3	231	4	11	19,117	18,590	427		100		2,124
	1	68		1	4,318	4,272	46				864
	4	300	56		33,008	30,651	2,172	85	100		3,301
	1	1,373	2	456	24,524	19,763	4,688	60	13		2,725
		6			441	427	9	4	1		88
	6	190		206	36,875	21,698	15,177				3,688
1		375	73		18,204	12,190	5,690	107	217		2,601
		9	1	1	497	455	38		4		99
	1	112	9		14,937	14,200	386	351			3,734
2	1	212	4		51,958	49,406	2,552				7,423
	1		11	428	2,196	84	2,112				314
				190	335		200	135			56
		110	3	2	2,959	2,634	309	4	12		493

過去10年間の火災発生件数

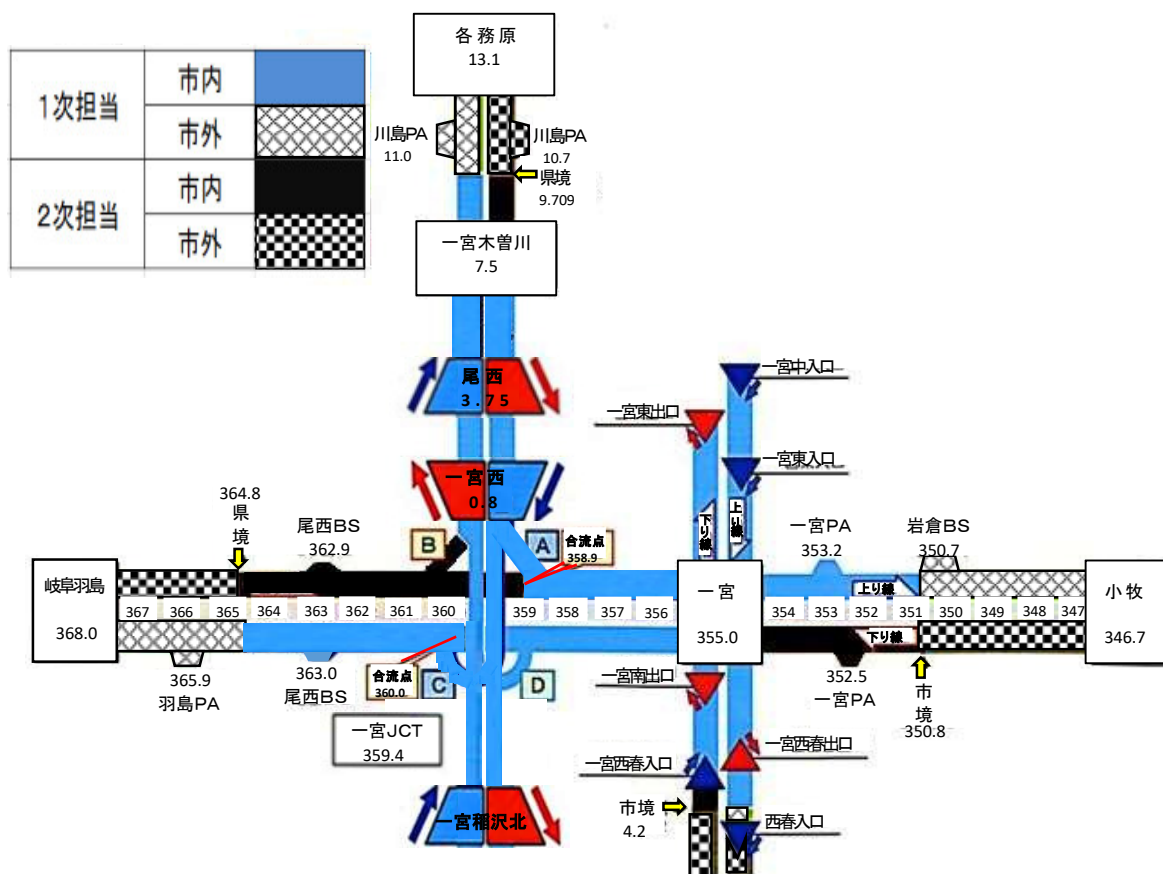
区分	火災件数				焼損床面積 (㎡)	死傷者		損害額 (千円)
	合計	建物	車両	その他		死者	傷者	
平成24年	101	57	8	36	1,818	2	20	116,025
平成25年	87	51	12	24	3,307	3	6	201,673
平成26年	104	68	9	27	4,255	5	13	248,407
平成27年	83	48	5	30	1,800	5	9	87,236
平成28年	99	46	8	45	814	3	16	55,087
平成29年	80	45	9	26	1,574	2	13	96,788
平成30年	68	41	9	18	2,579	4	10	365,878
令和元年	59	29	6	24	1,993	1	8	196,002
令和2年	57	28	7	22	4,720	2	8	792,224
令和3年	81	55	10	16	2,755	3	15	190,252

※各数値は速報値であり変更が生ずる場合があります



高速道路の火災

令和3年3月28日に東海北陸自動車道一宮稲沢北インターチェンジが開通し、本市の高速道路における担当区域は、下図に示すとおりとなりました。



<過去10年間の出動件数>

区分	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年
計	1(1)	1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3
車両		1	2(1)	1	4(3)	2(1)	2	2(1)	2	3
その他	1(1)									

※()内は管轄外出動で内数で記載

警 防



消防車両の配置状況

消防本部・消防署

令和4年4月1日現在

区 分		車 両			
一 宮 消 防 署	本 部 ・ 本 署	指令車	2台	救助工作車	1台
		指揮車	1台	救助資機材搬送車	1台
		水槽付消防ポンプ自動車	3台	高規格救急自動車	2台
		はしご付消防自動車	1台	広報車	10台
		支援車	1台	搬送車	1台
	浅井・西成消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	千 秋 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
	分 署	大 和 消 防 出 張 所	指令車	1台	広報車
水槽付消防ポンプ自動車			1台	搬送車	1台
高規格救急自動車			1台		
丹 陽 消 防 出 張 所		水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
尾 西 消 防 署	尾 西 消 防 署	指令車	1台	はしご付消防自動車	1台
		指揮車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	3台
		化学消防ポンプ自動車	1台	搬送車	1台
	萩原消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
		消防ポンプ自動車	1台		
今伊勢・奥消防出張所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台	
	消防ポンプ自動車	1台			
木 曾 川 消 防 署	木 曾 川 消 防 署	指令車	1台	高規格救急自動車	2台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台	広報車	2台
		救助工作車	1台	搬送車	1台
	葉 栗 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台	高規格救急自動車	1台
北 方 消 防 出 張 所	水槽付消防ポンプ自動車	1台			

災害種別の出動状況

令和3年中

区 分		出動件数(件)	出動車両数(台)	出動人員(人)
合 計(1)+(2)+(3)		3,511	4,266	15,553
小 計(1)		81	576	2,016
火 災	建 物 火 災	54	480	1,679
	高 層 火 災	1	12	38
	車 両 火 災	7	14	47
	そ の 他 の 火 災	16	62	222
	地 下 火 災			
	特 殊 車 両 火 災			
	航 空 機 火 災			
	指 定 建 物 火 災			
	危 険 物 施 設 火 災			
	高速自動車道	車 両 火 災	3	8
特殊車両火災				
その他の火災				
小 計(2)		90	147	536
警 戒	特 別 ガ ス 漏 れ			
	ガ ス 漏 れ	9	43	143
	怪 煙	7	14	54
	漏 油	66	68	253
	火 災 警 戒	6	18	71
	そ の 他	2	4	15
小 計(3)		3,340	3,543	13,001
焼 損 事 故	10	70	236	
誤 報	20	134	461	
虚 報				
応 援 (火 災 ・ 警 戒)	3	11	36	
救 急 支 援	3,307	3,328	12,268	

月別庁外業務活動状況

令和3年中

業務種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	34,035	2,802	2,500	2,779	2,992	2,887	2,818	3,073	3,085	2,696	2,712	2,757	2,934	
災害 出 動	火災出動	81	5	10	9	5	10	7	5	4	7	7	5	7
	救急出動	17,136	1,493	1,251	1,346	1,345	1,362	1,339	1,593	1,466	1,349	1,482	1,459	1,651
	救急支援	3,307	350	259	277	258	257	201	263	281	258	281	273	349
	救助出動	236	20	25	21	19	16	24	17	19	11	19	17	28
	警戒出動	90	8	3	4	4	7	7	7	5	6	10	12	17
	捜索活動													
	応援出動	3		1	1						1			
	誤報等出動	20	1			3	2		1	2	2	2	4	3
焼 損 事 故	10	2		1	1			1	2		2		1	
火 災 調 査	81	5	10	9	5	10	7	5	4	7	7	5	7	
演 習 ・ 訓 練	署所訓練	7,596	561	518	511	758	813	788	643	595	631	616	615	547
	全署訓練	30		4	1	4	2	2	2		1	3	6	5
	合同訓練	2											2	
広 報 ・ 指 導	消火器取扱 訓	6			1					1			3	1
	予 防 広 報	537			77				122	259			79	
	そ の 他	13	3	2	5								2	1
特 別 警 戒	警 戒 巡 回	567			103	334	94	21	1	14				
	行 催 事 警 戒	21							20			1		
警 防 調 査	消 防 水 利 調 査	434	43	50	30	50	55	46	44	28	28	17	16	27
	防 火 井 戸 性 能 試 験	185			77	102			2	2	1		1	
	空 地 等 調 査	227	50	23	24						1	48	54	27
	広 聴 調 査	361	27	34	25	21	24	30	27	31	31	39	36	36
	対 象 物 調 査	27	2	1	5	2	1	5	2	3	1	1		4
	そ の 他	19		2	2	2		1	1	8	1	1		1
	予 防 査 察	675	86	77	60	2	1	3	22	39	23	114	102	146
そ の 他	街 頭 消 火 器 点 検	289	20	30	18	17	32	30	27	12	35	26	20	22
	消 防 防 災 施 設 点 検	202	24	10	13	12	10	12	13	33	25	11	14	25
	救 命 講 習 ・ 救 急 法 指 導	228	2	3	15	7	14	43	20	21	24	22	30	27
	消 防 団 訓 練 指 導	78		4	6	36	24			1	1	2	2	2
	そ の 他	1,574	100	183	138	5	153	252	235	255	252	1		

消防活動用資器材の配置

令和4年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅井・西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曾 川	北 方	葉 栗
一 般 救 助 器 具	かぎ付はしご	4	2							1		1		
	三連はしご	21	4	2	1	1	1	1	3	1	2	3	1	1
	金属製折りたたみはしご 又はワイヤーはしご	5			1		1	1		1		1		
	空気式救助マット	2	1									1		
	救命索発射銃	2	1									1		
	サバイバースリング 又は救助用縛帯	39	12	2	2	2	1	2	4	2	2	7	2	1
	平 担 架	2	1									1		
	滑 車	41	20									21		
重 量 物 排 除 器 具	油 圧 ジ ャ ッ キ	16	2	2	2	1	1	1		1	2	2	1	1
	油圧スプレッダ(大型含む)	5	1		1			1				1		1
	マンホール救助器具	2	1									1		
	救助用支柱器具一式	1	1											
	可 搬 ウ イ ン チ	5	2		1							2		
	マット型空気ジャッキ一式	2	1									1		
破 壊 ・ 切 断 器 具	エンジンカッター	9	2		1	1		1	1			2		1
	油圧切断機(大型含む)	7	2		1			1				2		1
	空 気 鋸	5	3									2		
	空 気 切 断 機	4	2									2		
	ガ ス 溶 断 器	2	1									1		
	チェ ー ン ソ ー	2	1									1		
	鉄線鋏(カッター)	38	6	3	3	2	3	3	4	3	3	5	1	2
	万 能 斧	46	10	4	3	2	3	4	6	2	3	6	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	2	1									1		
	削 岩 機	3	1						1			1		
検 用 器 ・ 測 定 器	放 射 線 測 定 器	10	6						1			3		
	可燃性ガス測定器	24	5	2	2	1	1	1	3	2	2	3	1	1
	有 毒 ガ ス 測 定 器	2	1									1		
隊 員 保 護 器 具 ・ 除 染 器 (NBC対策)	防 毒 マ ス ク	20	15									5		
	化 学 防 護 服	60	30						10			20		
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	10	5									5		
	ポ ケ ッ ト 線 量 計	31	15						3			13		
	放 射 線 保 護 服	6	3									3		
	除 染 シ ャ ワ ー	2	1									1		

令和4年4月1日現在

	区 分	合 計	配 置 場 所											
			本 署	浅井・西成	千 秋	分 署	大 和	丹 陽	尾 西	萩 原	今伊勢・奥	木 曾 川	北 方	葉 栗
水 難 器 具	潜 水 器 具 一 式	10										10		
	救 命 胴 衣	325	77	16	12	24	12	16	42	16	16	66	12	16
	水 中 投 光 器	10										10		
	救 命 浮 環	41	7	3	3	2	2	2	7	3	3	6	1	2
	浮 標	6							1			5		
	救 命 ボ ー ト	31	6	2	1	3	1	2	4	2	2	4	2	2
船 外 機	9	3						3			3			
呼 吸 保 護 器 具	空 気 呼 吸 器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	防 塵 マ ス ク	128	33	8	8	4	4	5	24	8	8	17	4	5
	送 排 風 機	2	1									1		
	酸 素 呼 吸 器	10	5									5		
	簡 易 呼 吸 器	5	2									3		
隊 員 保 護 器 具	墜 落 制 止 用 器 具	21	8						8			5		
	防 塵 メ ガ ネ	107	20	7	7	7	7	7	15	7	7	12	4	7
	耐 電 手 袋	18	7		1				1	3		5		1
	耐 電 衣	4	2									2		
	耐 電 ズ ボ ン	4	2									2		
	耐 電 長 靴	8	4						2			2		
	携 帯 警 報 器	102	21	8	8	4	4	4	16	8	8	13	4	4
	耐 熱 服	11	3						5			3		
そ の 他 ・ 山 岳 救 助 器 具	投 光 器 一 式	27	7	2	2	1	1	1	4	2	1	4	1	1
	携 帯 投 光 器	126	25	10	8	8	8	7	18	10	9	13	3	7
	強 力 携 帯 型 HID サ ー チ ラ イ ト	23	6	1	1	1	1	1	4	2	2	2	1	1
	緩 降 機	1	1											
	バ ス ケ ッ ト 担 架	4	2						1			1		
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	30	4	3	2	2	2	2	4	2	2	4	1	2
	簡 易 画 像 探 索 機	2	1									1		
	加 圧 排 煙 機	2	1									1		
	エ ア ー テ ン ト	4	2						1			1		
高 度 救 助 用 器 具	画 像 探 索 機	1	1											
	地 中 音 響 探 知 機	1	1											
	熱 画 像 直 視 装 置	3	2						1					
	夜 間 用 暗 視 装 置	1	1											
	地 震 警 報 器	1	1											

消防水利の現況

令和4年4月1日現在

区 分	合 計	公 設						私 設				そ の 他				
		小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽			小 計	消 火 栓	防 火 井 戸	防 火 水 槽		小 計	プ ール	貯 水 池	そ の 他
					40 m ³ 未 満	40 ~ 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上				40 ~ 100 m ³ 未 満	100 m ³ 以 上				
合 計	5,182	5,051	4,066	602	5	356	22	50		4	34	12	81	76	2	3
	3,637	3,591	3,027	182	4	356	22	46			34	12				
宮 西	151	148	133	5	1	6	3	1			1		2	2		
	121	120	110	1		6	3	1			1					
貴 船	133	131	128	1		1	1	1			1		1	1		
	118	117	114	1		1	1	1			1					
神 山	193	188	168	11		7	2	2			2		3	3		
	171	169	155	5		7	2	2			2					
大 志	97	96	88	1		4	3						1	1		
	94	94	87			4	3									
向 山	102	100	90	7		3							2	2		
	80	80	72	5		3										
富 士	152	150	139	6		4	1	1			1		1	1		
	137	136	128	3		4	1	1			1					
葉 栗	283	275	219	36		20		3			1	2	5	5		
	220	217	175	22		20		3			1	2				
西 成	495	484	381	53	1	48	1	1			1		10	10		
	386	385	304	31	1	48	1	1			1					
丹 陽 町	385	377	341	26		10		3			3		5	4	1	
	261	258	240	8		10		3			3					
浅 井 町	270	265	200	37		27	1	1			1		4	4		
	198	197	158	11		27	1	1			1					
北 方 町	151	149	111	8	1	29							2	2		
	120	120	90		1	29										
大 和 町	469	454	364	51		37	2	8		1	6	1	7	7		
	328	321	265	17		37	2	7			6	1				
今伊勢町	194	183	150	20	1	12		7			4	3	4	3	1	
	134	127	106	8	1	12		7			4	3				
奥 町	144	136	112	7		16	1	3			3		5	2		3
	71	68	51			16	1	3			3					
萩 原 町	343	337	266	55		15	1	2		1		1	4	4		
	237	236	199	21		15	1	1			1					
千 秋 町	309	299	243	31		25		3		2	1		7	7		
	233	232	191	16		25		1			1					
起	61	59	43	13		2	1	1				1	1	1		
	34	33	30			2	1	1				1				
小信中島	131	129	92	34		2	1						2	2		
	60	60	52	5		2	1									
三 条	184	180	128	45		4	3	2				2	2	2		
	95	93	85	1		4	3	2				2				
大 徳	127	124	95	26		3		1				1	2	2		
	52	51	43	5		3		1				1				
朝 日	328	324	235	84		5							4	4		
	113	113	97	11		5										
開 明	119	115	94	19		2		1			1		3	3		
	76	75	67	6		2		1			1					
木曾川町	361	348	246	26	1	74	1	9			8	1	4	4		
	298	289	208	5	1	74	1	9			8	1				

(備考) 下段は消防水利基準に該当するもの

応援協力計画

大規模な災害または特殊な災害が発生し、本市の消防力だけでは対処不可能な場合には関係協力機関に応援協力を要請し、消防隊の効率的な運用によりの確な災害活動を行い、被害を最小限に防止するため一宮市消防本部は、様々な応援協定等を締結しています。

令和4年4月1日現在

応援協定等	
1	大規模災害消防応援実施計画
2	愛知県内広域消防相互応援協定
3	愛知県消防広域応援基本計画
4	愛知県消防活動等援助要綱
5	愛知県緊急消防援助隊受援計画
6	愛知県下高速道路における消防相互応援協定
7	高速道路における消防相互応援協定(名神)
8	高速道路における消防相互応援協定(東海北陸)
9	愛知県における航空機を用いた市町村等の消防支援協定
10	愛知県防災ヘリコプター運営職員派遣要綱
11	名古屋市航空機隊支援出動要請要領
12	ドクターヘリ運航要領
13	尾張西北部地区消防相互応援協定
14	木曽川流域消防相互応援協定
15	大規模特殊災害時における広域航空消防応援実施要綱
16	消防相互応援協定(岐阜県各務原市)
17	航空事故に伴う災害発生時の連絡調整に関する協定
18	航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合の連絡調整に関する協定
19	災害活動の協力に関する協定
20	都市ガス災害対策に関する業務協約
21	LPガス災害対策に関する業務協約
22	災害時における消防用水等の確保に関する協定



緊急消防援助隊

【緊急消防援助隊とは】

・緊急消防援助隊とは、阪神・淡路大震災での教訓（人命救助活動を行う応援部隊の早期出動の必要性等）を踏まえ、平成7年度に創設されました。国内で発生した大規模災害や特殊災害時に、被災地の消防機関では対処できない場合、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部から、人命救助活動等を行うために被災地へ駆け付ける応援部隊のことです。

【一宮市消防本部の登録車両等】

令和4年4月1日現在

小隊種別	隊数	車両種別:台数
消火小隊	6隊	化学消防ポンプ自動車:1台 水槽付消防ポンプ自動車:5台
救助小隊	1隊	救助工作車Ⅱ型:1台
救急小隊	2隊	高規格救急車:2台
後方支援小隊	1隊	資機材搬送車:1台
特殊装備小隊	2隊	はしご自動車:2台
その他	1艇	高機能救命ボート:1艇

【一宮市消防本部の派遣実績】

●平成16年 7月福井豪雨

・平成16年7月17日から18日にかけて発生した豪雨により、福井県全域に被害が出たため、平成16年7月18日から19日までの間、緊急消防援助隊愛知県大隊として福井県に派遣隊1隊(5名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/18～7/19	消火小隊	5名	福井県福井市西木田地区で検索救護

●平成23年 東日本大震災

・平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の津波の影響により、東北地方各地に被害が出たため、平成23年3月12日から4月24日までの間に、緊急消防援助隊愛知県大隊として宮城県に派遣隊29隊(103名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第2次隊	3/12～3/15	消火小隊 救助小隊 後方支援小隊	12名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第3次隊	3/13～3/16	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第5次隊	3/17～3/22	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町及び山元町で搜索
第6次隊	3/20～3/25	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第7次隊	3/23～3/28	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第8次隊	3/26～3/30	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第9次隊	3/29～4/3	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第10次隊	4/1～4/6	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第11次隊	4/4～4/9	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第12次隊	4/7～4/12	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第13次隊	4/10～4/15	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第14次隊	4/13～4/18	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第15次隊	4/16～4/21	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索
第16次隊	4/19～4/24	救助小隊 後方支援小隊	7名	宮城県亶理郡亶理町で搜索

第1・4次隊の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成26年 御嶽山噴火災害

・平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴う救助活動のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として長野県王滝村に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第11次隊	10/4～10/7	救助小隊	5名	御岳剣ヶ峰山荘売店付近の搜索
第20次隊	10/11～10/12	救助小隊	5名	御嶽神社頂上奥社及び頂上山荘周辺の搜索
第24次隊	10/16～10/17	救助小隊	5名	派遣期間中に搜索中止が決定

※ 第11・20・24次隊以外の派遣については、本市消防本部該当なし

●平成30年 7月豪雨

・平成30年6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とした全国的に広範囲な集中豪雨が発生、河川の氾濫や浸水害のため、緊急消防援助隊愛知県大隊として岡山県倉敷市真備町に派遣隊2隊(8名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/7～7/8	救急小隊	3名	小田川北面冠水地区にて、トリアージ活動
第2次隊	7/7～7/10	救助小隊	5名	真備町冠水地区にて、救命ボートで救出活動

●令和3年 静岡県熱海市土石流災害

・令和3年7月3日梅雨前線に伴う豪雨により、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で土石流が発生、多くの人的、物的被害が出たため、緊急消防援助隊愛知県大隊として静岡県熱海市に派遣隊3隊(15名)を派遣しました。

区分	派遣期間	派遣隊	派遣人員	活動場所及び活動内容
第1次隊	7/10～7/13	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動
第2次隊	7/13～7/16	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動
第3次隊	7/16～7/19	消火小隊	5名	熱海市伊豆山地区で行方不明者の搜索及び救助活動

〈活動写真〉



浜松SAに集結した愛知県大隊



伊豆山地区の土砂災害状況



建物内に入った土砂を取り除く隊員



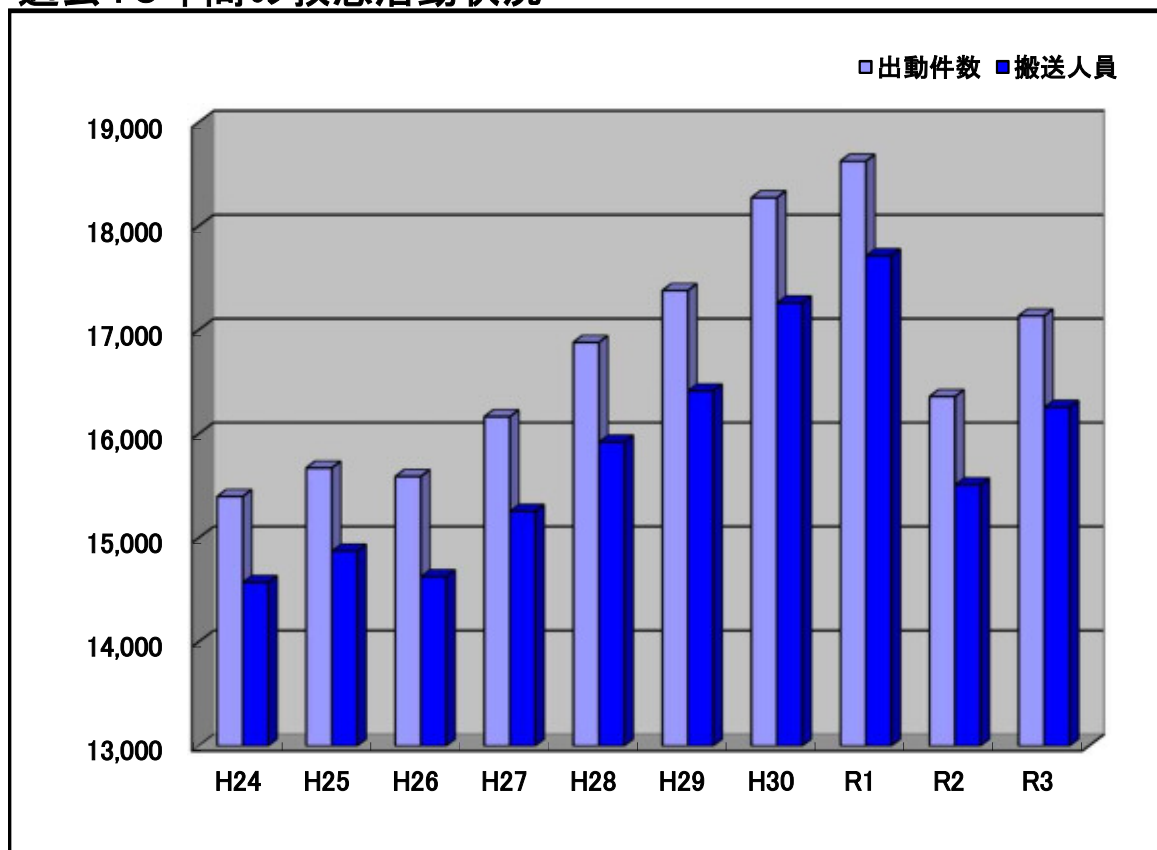
土砂に埋まりながら搜索活動をする隊員



救 急

救 助

過去10年間の救急活動状況



(上段) 出動件数 / (下段) 搬送人員												
区分	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
H24	15,400	67		11	1,763	156	140	1,807	76	125	10,189	1,066
	14,574	17		2	1,846	155	140	1,740	64	92	9,713	805
H25	15,674	63		6	1,812	147	128	1,914	76	153	10,380	995
	14,874	8		3	1,902	147	132	1,836	74	107	9,883	782
H26	15,592	71	2	4	1,747	154	111	1,923	60	142	10,289	1,089
	14,629	14	2		1,834	154	115	1,844	55	101	9,700	810
H27	16,167	50	1	8	1,615	184	131	2,080	66	139	10,669	1,224
	15,257	6	1	2	1,716	180	131	1,995	57	109	10,109	951
H28	16,882	60		6	1,654	140	128	2,211	56	142	11,191	1,294
	15,923	16		1	1,732	137	131	2,132	46	106	10,591	1,031
H29	17,381	71	1	4	1,699	149	113	2,274	63	138	11,554	1,315
	16,416	13	1		1,782	144	113	2,183	55	106	10,985	1,034
H30	18,274	51	7	3	1,511	175	138	2,349	60	121	12,448	1,411
	17,262	9	7		1,551	174	141	2,272	49	88	11,875	1,096
R1	18,626	54		6	1,498	166	125	2,411	51	132	12,798	1,385
	17,716	9		1	1,523	165	126	2,347	48	94	12,313	1,090
R2	16,361	53		7	1,234	144	83	2,372	37	127	11,021	1,283
	15,513	8			1,278	142	83	2,304	35	97	10,554	1,012
R3	17,136	64		11	1,241	125	86	2,415	37	141	11,653	1,363
	16,257	12		1	1,284	123	87	2,341	36	109	11,161	1,103

曜日・月別救急出動件数

令和3年中

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 等 輸 送	そ の 他	
曜 日 別	月	17		1	176	26	5	373	1	23	1,844	196	6	18	15	2,701
	火	6		2	179	17	10	315	7	19	1,673	193	4	28	20	2,473
	水	10		2	189	22	11	307	7	25	1,560	175	4	14	20	2,346
	木	11		1	181	13	6	307	1	18	1,582	160	6	18	14	2,318
	金	5		2	193	24	11	387	3	24	1,656	189	3	15	15	2,527
	土	7		2	181	18	19	370	13	16	1,655	134	1	14	15	2,445
	日	8		1	142	5	24	356	5	16	1,683	58	1	7	20	2,326
合 計		64		11	1,241	125	86	2,415	37	141	11,653	1,105	25	114	119	17,136
月 別	1月	4		1	88	10	6	192	2	13	1,066	89	2	9	11	1,493
	2月	8		2	85	7	5	178	2	10	861	78	1	1	13	1,251
	3月	6		1	112	7	7	172		20	918	85	2	6	10	1,346
	4月	3			104	11	8	194	6	11	892	93	2	10	11	1,345
	5月	12			75	9	3	202	3	12	933	86	5	12	10	1,362
	6月	3		2	122	4	10	176	4	14	890	96	1	8	9	1,339
	7月	5		2	90	12	17	194	3	8	1,151	91	1	10	9	1,593
	8月	5		1	95	14	4	205		15	1,017	85	3	9	13	1,466
	9月	5		1	105	14	5	168	5	8	925	91	4	11	7	1,349
	10月	3			106	11	6	246	4	6	981	98	0	14	7	1,482
	11月	2			127	15	9	237	3	11	932	104	1	12	6	1,459
	12月	8		1	132	11	6	251	5	13	1,087	109	3	12	13	1,651

曜日・月別救急搬送人員

令和3年中

事故種別 区分		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
曜 日 別	月	5			176	26	5	359	1	17	1,762	196	2,547
	火	3			189	16	10	305	7	15	1,611	192	2,348
	水				190	22	11	301	7	20	1,494	175	2,220
	木	3			190	13	6	295	1	12	1,506	159	2,185
	金	1			195	23	12	378	4	19	1,586	189	2,407
	土				194	18	19	358	11	13	1,584	134	2,331
	日			1	150	5	24	345	5	13	1,618	58	2,219
合 計		12		1	1,284	123	87	2,341	36	109	11,161	1,103	16,257
月 別	1月	1			92	10	6	190	3	9	1,010	89	1,410
	2月	4			92	7	5	173	1	8	819	78	1,187
	3月	1			121	7	7	164		15	886	85	1,286
	4月				105	11	8	188	6	9	865	93	1,285
	5月	5			82	9	3	199	3	11	888	86	1,286
	6月			1	123	4	10	169	4	11	855	96	1,273
	7月				93	12	17	188	3	5	1,106	90	1,514
	8月	1			102	14	4	197		12	980	85	1,395
	9月				107	14	6	160	6	6	887	90	1,276
	10月				108	10	6	239	5	4	942	98	1,412
	11月				134	14	9	232	1	9	893	104	1,396
	12月				125	11	6	242	4	10	1,030	109	1,537

地区別救急出動件数

令和3年中

地区 事故種別	合計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管	
		西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾	川	外
合計	17,136	770	583	773	294	381	426	736	1,479	1,157	1,000	342	1,649	1,018	658	915	834	2,717	1,325	79	
火災	64			2	1		2	6	3	5	3		11	3	1	2	3	14	8		
自然災害																					
水難	11											3						4	3	1	
交通事故	1,241	45	36	45	16	33	49	47	119	107	39	26	150	67	32	54	59	210	103	4	
労働災害	125	4	6	6	1	2	1	4	5	17	3	2	11	4	7	15	12	17	8		
運動競技	86	2	2	1		2	3	19	3	5	6		4	5	3	1	11	9	10		
一般負傷	2,415	99	79	120	43	55	56	109	179	153	155	54	229	149	109	135	89	382	216	4	
加害	37	1	2	3	5	2	1	1	2	4	2		1	5	2	1		4	1		
自損行為	141	4	5	11	1	5	3	6	14	6	6	5	16	9	3	5	8	24	10		
急病	11,653	412	363	560	209	264	303	528	1,054	845	727	246	1,187	674	414	682	479	1,818	871	17	
その他	転搬院送	1,105	86	83	16	14	15	5	3	88	7	49		32	95	78	13	170	211	88	52
	医療搬送	25		1		1	1		2	1	2	1	2	1	2	1	2		7	1	
	資機材輸送	114	114																		
	その他	119	3	6	9	3	2	3	11	11	6	9	4	7	5	8	5	3	17	6	1

地区別救急搬送人員

令和3年中

地区 事故種別	合計	宮	貴	神	大	向	富	葉	西	丹	浅	北	大	今	奥	萩	千	尾	木	管
		西	船	山	志	山	士	栗	成	陽	井	方	和	伊勢	町	原	秋	西	曾	川
合計	16,257	637	563	708	273	369	410	702	1,436	1,048	956	326	1,590	975	633	891	798	2,581	1,285	76
火災	12			1				3		1	2		1	1				1	2	
自然災害																				
水難	1																		1	
交通事故	1,284	48	36	45	15	33	54	45	123	107	36	27	159	65	33	60	58	221	114	5
労働災害	123	4	6	6	1	2	1	4	5	17	3	2	11	4	7	14	12	16	8	
運動競技	87	2	2	1		2	3	20	3	5	6		4	5	3	1	11	9	10	
一般負傷	2,341	98	78	111	41	53	55	107	176	136	147	53	223	146	108	134	85	375	211	4
加害	36	1	2	3	5	3	2	1	2	3	2		1	4	2	1		3	1	
自損行為	109	2	4	11	1	5	1	5	11	4	4	5	10	9	3	4	6	18	6	
急病	11,161	396	352	514	196	256	289	514	1,028	768	707	239	1,149	647	400	664	456	1,727	844	15
その他	1,103	86	83	16	14	15	5	3	88	7	49		32	94	77	13	170	211	88	52

現場到着所要時間別救急出動件数

令和3年中

現場到着 所要時間 事故種別	3	3	5	10	20	合 計	現場到着 最短 所要時間 (分)	現場到着 最長 所要時間 (分)	現場到着 平均 所要時間 (分)
	分 未 満	分 以 上 5 分 未 満	分 以 上 10 分 未 満	分 以 上 20 分 未 満	分 以 上				
合 計	229	1,787	13,407	1,686	27	17,136	0	134	7.3
急 病	73	1,197	9,264	1,105	14	11,653	0	47	7.3
交 通 事 故	9	81	950	193	8	1,241	0	39	8.0
一 般 負 傷	20	261	1,931	200	3	2,415	0	134	7.2
上 記 以 外	127	248	1,262	188	2	1,827	0	40	6.6

収容所要時間別救急搬送人員

令和3年中

収 容 所要時間 事故種別	10		10		20		30		60		120		合 計	収容 最短 所要時間 (分)	収容 最長 所要時間 (分)	収容 平均 所要時間 (分)
	分 未 満	うち 管外	分 以 上 20 分 未 満	うち 管外	分 以 上 30 分 未 満	うち 管外	分 以 上 60 分 未 満	うち 管外	分 以 上 120 分 未 満	うち 管外	分 以 上	うち 管外				
合 計	1		1,907	23	10,189	291	4,059	486	95	45	6	2	16,257	8	178	26.5
急 病			1,317	17	7,138	182	2,653	238	50	17	3	2	11,161	10	157	26.2
交 通 事 故	1		97	1	728	20	447	21	11	1			1,284	8	103	28.6
一 般 負 傷			259	2	1,494	46	584	42	3	2	1		2,341	10	156	26.1
上 記 以 外			234	3	829	43	375	185	31	25	2		1,471	11	178	27.6

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員

令和3年中

事故種別		合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
区分													
合計	合計	16,257	12		1	1,284	123	87	2,341	36	109	11,161	1,103
	死亡	299				7			21		15	248	8
	重症	1,194	3			44	7	1	54	2	21	875	187
	中等症	6,570	6		1	225	41	14	858	5	33	4,621	766
	軽症	8,194	3			1,008	75	72	1,408	29	40	5,417	142
	その他												
新生児	小計	135							3			8	124
	死亡												
	重症	12							1				11
	中等症	106										2	104
	軽症	17							2			6	9
	その他												
乳幼児	小計	641				31			178			379	53
	死亡	1										1	
	重症	11							1			3	7
	中等症	175				1			11			123	40
	軽症	454				30			166			252	6
	その他												
少年	小計	522				149	1	58	66	3	2	229	14
	死亡												
	重症	11				4		1				3	3
	中等症	115				17		10	7		1	70	10
	軽症	396				128	1	47	59	3	1	156	1
	その他												
成人	小計	4,470	8			708	100	24	320	25	87	2,962	236
	死亡	38				3			2		7	23	3
	重症	294	2			14	6		8	1	17	196	50
	中等症	1,107	5			101	32	2	75	4	27	719	142
	軽症	3,031	1			590	62	22	235	20	36	2,024	41
	その他												
高齢者	小計	10,489	4		1	396	22	5	1,774	8	20	7,583	676
	死亡	260				4			19		8	224	5
	重症	866	1			26	1		44	1	4	673	116
	中等症	5,067	1		1	106	9	2	765	1	5	3,707	470
	軽症	4,296	2			260	12	3	946	6	3	2,979	85
	その他												

新生児 : 生後28日未満の者
 乳幼児 : 生後28日以上、満7歳未満の者
 少年 : 満7歳以上、満18歳未満の者
 成人 : 満18歳以上、満65歳未満の者
 高齢者 : 満65歳以上の者

救急高度化の推移

区 分	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年
一 宮 市 人 口	386,105	385,777	385,160	384,790	383,582
救 急 出 動 件 数	17,381	18,274	18,626	16,361	17,136
人 口 1 万 人 当 た り の 出 動 件 数	450	474	484	425	447
高 規 格 救 急 車 運 用 台 数	11	11	11	11	11
救 急 救 命 士 数	87	87	90	91	96
気 管 挿 管 救 命 士 数	16	17	18	18	19
薬 剤 投 与 救 命 士 数	67	69	72	75	78
救 急 搬 送 人 員 (A)	16,416	17,262	17,716	15,513	16,257
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 (B)	362	382	395	359	404
〔 救 急 隊 により 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 人 員 〕 (C)	(20)	(37)	(29)	(32)	(35)
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 件 数 (D)	251	247	255	244	268
心 肺 停 止 傷 病 者 搬 送 率 % (B / A)	2	2	2	2	2
バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % (D / B)	69	65	65	68	66
〔 救 急 隊 により 心 肺 機 能 停 止 の 時 点 が 目 撃 さ れ た 心 肺 停 止 傷 病 者 を 除 く バ イ ス タ ン ダ ー C P R 実 施 率 % 〕 (D / (B - C))	(73.4)	(71.6)	(69.7)	(74.6)	(72.6)

一 宮 市 人 口 : 各年の4月1日現在

気 管 挿 管 救 命 士 : 医師の具体的指示下において気管挿管の処置を行うことができる救命士

薬 剤 投 与 救 命 士 : 医師の具体的指示下において薬剤投与の処置を行うことができる救命士

バ イ ス タ ン ダ ー C P R : 居合わせた人による心肺蘇生法等の一次救命処置
(胸骨圧迫、人工呼吸などが実施されていたもの)

救急隊員の行った応急処置等件数

区分	応急処置		止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	計	気道確保				
	対 象 人 数	件 数 合 計							※1	※2	※3	※4	
合計	合計	16,181	73,872	209	2,101	124	409	3,070	678	28	44	205	2
	死亡	299	1,514		20	19	290	284	286	13	29	150	2
	重症	1,188	6,036	6	96	52	110	628	214	10	13	47	
	中等症	6,509	30,532	49	853	50	9	1,768	154	4	2	8	
	軽症	8,185	35,790	154	1,132	3		390	24	1			
	その他												
急病	小計	11,154	50,920	53	355	100	337	2,433	562	24	23	186	2
	死亡	248	1,257		6	13	245	235	239	11	17	140	2
	重症	874	4,509	1	12	41	86	464	173	9	5	41	
	中等症	4,617	21,953	9	184	43	6	1,427	131	3	1	5	
	軽症	5,415	23,201	43	153	3		307	19	1			
	その他												
交通事故	小計	1,283	6,155	19	656	2	10	88	15	1	2		
	死亡	7	36		5		7	6	7		2		
	重症	44	283	4	40	1	3	22	7	1			
	中等症	225	1,201	4	150	1		45	1				
	軽症	1,007	4,635	11	461			15					
	その他												
一般負傷	小計	2,337	10,928	115	945	7	34	143	49	3	19	9	
	死亡	21	98		2	2	19	20	20	2	10	3	
	重症	54	282		24	3	14	23	17		8	5	
	中等症	858	4,116	29	446	2	1	63	10	1	1	1	
	軽症	1,404	6,432	86	473			37	2				
	その他												
上記以外	小計	1,407	5,869	22	145	15	28	406	52			10	
	死亡	23	123		7	4	19	23	20			7	
	重症	216	962	1	20	7	7	119	17			1	
	中等症	809	3,262	7	73	4	2	233	12			2	
	軽症	359	1,522	14	45			31	3				
	その他												

- ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
- ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
- ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
- ※4 気管挿管による気道確保

区分		保	被	在	除	静	そ	血	心	血	心	血	エ	ブ	薬
		温	覆	宅	細	脈	の	圧	音	中	電	糖	ピ	ド	剤
		測	法	療	動	路	他	測	・	酸	図	測	ン	ウ	投
		定		法	保	確		定	呼	素		定	投	糖	与
				法		保			吸	飽			与	投	与
				法		保			音	和				与	与
				法		保			音	度					
				法		保			音						
合計	合計	175	822	194	30	90	15,759	15,347	4,279	15,716	14,740	77	3	12	37
	死亡	1	2	7	10	23	191	34	21	33	272		1		20
	重症	38	21	24	20	27	1,101	1,073	374	1,096	1,129	14		1	12
	中等症	79	188	134		36	6,346	6,322	1,948	6,474	6,063	45	1	8	5
	軽症	57	611	29		4	8,121	7,918	1,936	8,113	7,276	18	1	3	
	その他														
急病	小計	124	55	176	30	80	10,954	10,654	3,444	10,815	10,623	76	3	12	34
	死亡	1		6	10	23	158	28	18	27	227		1		20
	重症	28	3	22	20	23	829	806	307	812	858	13		1	10
	中等症	67	23	124		30	4,581	4,541	1,674	4,597	4,458	45	1	8	4
	軽症	28	29	24		4	5,386	5,279	1,445	5,379	5,080	18	1	3	
	その他														
交通事故	小計	5	167			4	1,264	1,246	399	1,269	1,010				1
	死亡		1				3		1		6				
	重症	1	9			2	44	41	25	41	42				1
	中等症	3	34			2	223	225	90	224	199				
	軽症	1	123				994	980	283	1,004	763				
	その他														
一般負傷	小計	20	522	13		2	2,310	2,205	282	2,270	2,008	1			2
	死亡		1	1			12	2	1	2	16				
	重症	4	6	1		1	48	40	11	40	48	1			1
	中等症	4	108	6		1	856	848	98	854	789				1
	軽症	12	407	5			1,394	1,315	172	1,374	1,155				
	その他														
上記以外	小計	26	78	5		4	1,231	1,242	154	1,362	1,099				
	死亡						18	4	1	4	23				
	重症	5	3	1		1	180	186	31	203	181				
	中等症	5	23	4		3	686	708	86	799	617				
	軽症	16	52				347	344	36	356	278				
	その他														

高速道路の救急活動状況

令和3年中

区	分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 動 件 数	合 計	83	2	2	10	2	3	10	1	14	13	5	6	15	
	事 故 種 別	火 災	1												1
		急 病	12	2	1	2	1		1			1	2	1	1
		交通事故	69			8	1	3	9	1	14	12	3	5	13
		上記以外			1										
	地 域 別	市 内	72	1	1	9	1	3	8		13	13	3	6	14
		市 外	5	1	1				2				1		
		県 外	6			1	1			1	1		1		1
		不 搬 送	7		1	1			1				1		3

搬 送 人 員	合 計	91	2	1	12	2	6	9	2	16	14	4	9	14	
	種 別	火 災													
		急 病	11	2	1	2	1		1			1	1	1	1
		交通事故	80			10	1	6	8	2	16	13	3	8	13
		上記以外													
	性 別	男	74	1	1	11	2	3	8	2	12	12	4	5	13
		女	17	1		1		3	1		4	2		4	1
	傷 病 程 度 別	死 亡	1								1				
		重 症	5						1		1			1	2
		中 等 症	16	1	1	4			1	1	2	4		1	1
軽 症		69	1		8	2	6	7	1	12	10	4	7	11	
そ の 他															

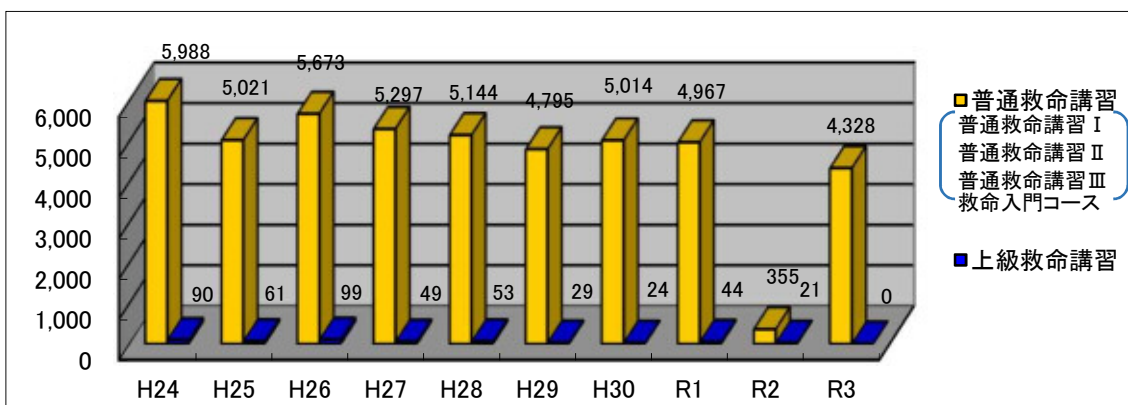
応急手当等の普及活動状況

〈救命講習等実施状況〉

令和3年中

普通救命講習								上級救命講習		応急手当普及員講習	
普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		救命入門コース					
回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
157	4046	4	47	11	120	13	115	0	0	0	0

〈救命講習等年別修了者数〉



〈一般救急講習実施状況〉

令和3年中

区	分	合計	学 校	保 育 園 稚 園	防 災 会	各種団体	事 業 所	そ の 他
平成24年	実施回数	232	89	12	31	55	44	1
	参加人員	10,156	3,999	234	3,052	1,898	930	43
平成25年	実施回数	237	88	9	31	60	45	4
	参加人員	8,042	3,373	125	1,645	1,605	1,191	103
平成26年	実施回数	270	95	9	42	65	57	2
	参加人員	12,483	4,584	176	4,183	2,265	1,249	26
平成27年	実施回数	267	97	12	60	49	40	9
	参加人員	11,699	4,207	318	3,664	2,172	1,032	306
平成28年	実施回数	275	102	8	59	66	37	3
	参加人員	13,867	4,946	178	5,949	2,089	643	62
平成29年	実施回数	278	101	11	53	58	43	12
	参加人員	13,082	4,138	281	4,732	1,894	854	1,183
平成30年	実施回数	261	101	7	50	37	61	5
	参加人員	10,914	3,983	206	3,625	1,333	1,610	157
令和元年	実施回数	263	94	10	42	53	61	3
	参加人員	10,251	3,736	268	2,856	1,596	1,746	49
令和2年	実施回数	18			5	9	4	
	参加人員	462			146	207	109	
令和3年	実施回数	43	28		4	1	7	3
	参加人員	1,004	660		110	144	71	19

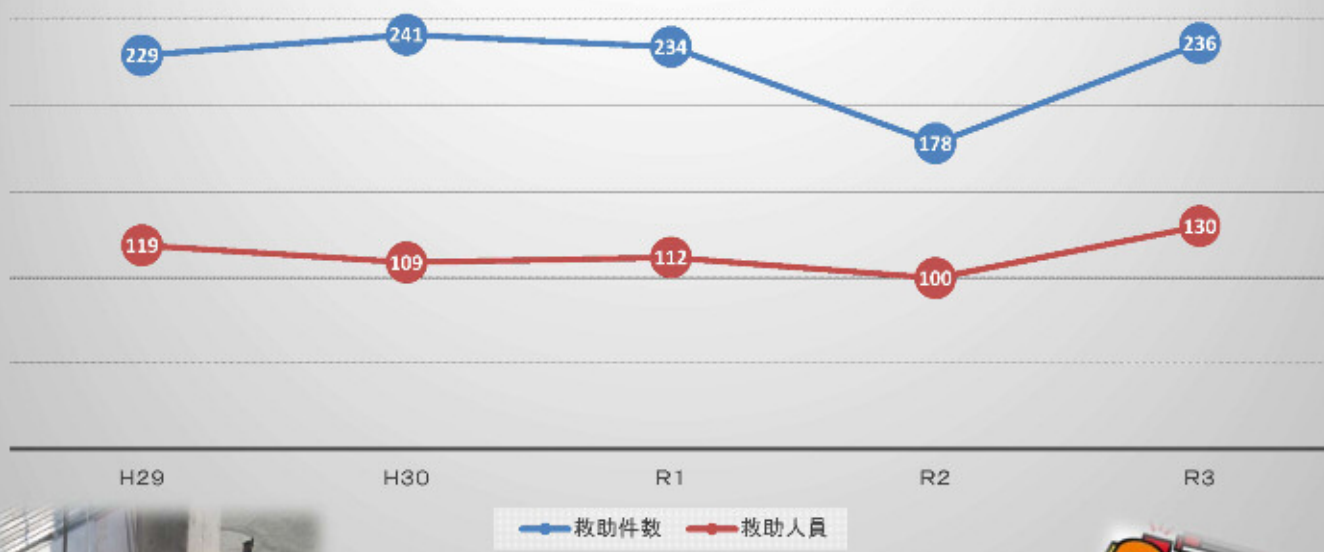
救助活動状況

令和3年中

区 分	出動件数	出 動		活動件数	救助人員
		台 数	人 員		
合 計	236	1,275	4,205	148	130
火 災	12	168	586	12	5
交 通 事 故	52	278	885	27	30
水 難 事 故	8	50	171	7	1
風 水 害 等 自然災害事故					
機械による事故	3	20	65	3	3
建物等による事故	94	435	1,429	77	59
ガス及び酸欠事故	5	34	109	3	14
破 裂 事 故					
その他の事故	62	290	960	19	18



過去5年間の救助件数及び救助人員の推移



※ 令和2年から国の統計事務に併せて、出動件数の算出方法を変更



月別救助出動状況

令和3年中

区 分		合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	出動件数	236	20	25	21	19	16	24	17	19	11	19	17	28
	出動人員	4,205	334	504	375	310	286	401	299	321	232	325	276	542
火 災	出動件数	12	1	3	1		1	1	2	1	1			1
	出動人員	586	46	151	67		47	47	74	50	52			52
交 通 事 故	出動件数	52	4	5	4	4	1	3	2	4	5	5	7	8
	出動人員	885	61	89	63	74	20	51	29	58	81	91	112	156
水 難 事 故	出動件数	8	1	2				1	2		1			1
	出動人員	171	22	42				15	36		32			24
風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	出動件数													
	出動人員													
機 械 に よ る 事 故	出動件数	3			1						1			1
	出動人員	65			20						21			24
建 物 等 に よ る 事 故	出動件数	94	10	10	7	6	6	9	9	10	3	7	6	11
	出動人員	1,429	147	147	103	94	95	135	130	151	46	105	98	178
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	出動件数	5			1	1						1		2
	出動人員	109			15	15						36		43
破 裂 事 故	出動件数													
	出動人員													
そ の 他 の 事 故	出動件数	62	4	5	7	8	8	10	2	4		6	4	4
	出動人員	960	58	75	107	127	124	153	30	62		93	66	65

救助訓練等実施状況

陸上

令和3年度中

月	日	訓練名	場所
5月	13日	特殊災害対応訓練	浅井・西成消防出張所
	17日		
	23日		一宮消防署本署
	28日		浅井・西成消防出張所
	30日		一宮消防署本署
7月	2日		丹陽消防出張所
	3日		一宮消防署本署
	11日		丹陽消防出張所
	18日		一宮消防署本署
	22日		丹陽消防出張所
8月	6日	化学災害・テロ時における 解毒剤自動注射器の使用に係る研修	尾西消防署
			一宮消防署本署
	7日		尾西消防署
			一宮消防署本署
10月	26日	中日本ハイウェイ・パトロール名古屋株式会社との合同訓練	中日本ハイウェイ・パトロール名古屋株式会社 羽島基地作業ヤード
11月	15日	高度救助隊一宮消防署長査閲	一宮消防署本署
	16日		

水難

令和3年度中

月	日	訓練名	場所
4月	14日	木曽川消防署ウレタンボート取扱い訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (富田ボート着水場)
	15日		木曽川及び木曽川左岸河川敷 (宝江ボート着水場)
	19日	潜水ランク認定訓練	一宮市温水プール
	26日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
5月	17日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
	24日		
6月	7日	潜水基本訓練及び潜水各種検索訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (富田ボート着水場)
	8日		
7月	29日	救助隊及び消防隊による水面救助訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (大日ボート着水場)
	30日		
9月	19日	新規船舶免許取得者によるウレタンボート取扱訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (大日ボート着水場)
10月	4日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
	21日	潜水応用訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (奥町ボート着水場)
	22日		
11月	5日	三市消防本部合同水難救助勉強会	羽島市防災ステーション
	18日	ドライスーツ潜水訓練	木曽川及び木曽川左岸河川敷 (宝江ボート着水場)
	19日		
	22日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
12月	13日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
1月	17日	潜水基本訓練	一宮市温水プール
3月	14日	潜水基本訓練	一宮市温水プール

消防五則

- 一、自分の安全はまず自分から確保します
- 一、平素から業務に耐える気力、体力を錬成します
- 一、いかなる事態においても沈着冷静な行動をとります
- 一、各種資器材の機能、性能を把握し安全操作に習熟します
- 一、災害現場は危険が伴うことを自覚し常に警戒心を保持します

制定 平成二年一月一日

制定主旨

「市民の生命・身体及び財産を災害から守る」という消防の組織目標であり重大な使命の遂行には、常に安全に対する配慮と認識が重要です。

安全管理は、任務遂行を前提とする積極的行動対策と考え制定しました。

2022年版 消防年報（第72号）

令和4年7月発行

編集・発行

一宮市消防本部総務課

〒491-0862

一宮市緑1丁目1番10号

TEL 0586-72-0119

FAX 0586-71-1191



一宮市消防本部
《昭和23年創設》



一宮市マスコットキャラクター
「いちみん」消防 Ver.